

# Snowflake.ARA-R01.v2024-06-25.q48

試験コード:	ARA-R01
試験名称:	SnowPro Advanced: Architect Recertification Exam
認定資格:	Snowflake
無料問題数:	48
バージョン:	v2024-06-25
アクセス数:	535
ページビュー数:	480
<a href="https://www.jpnpdf.com/Snowflake.ARA-R01.v2024-06-25.q48-mondaishu.html">https://www.jpnpdf.com/Snowflake.ARA-R01.v2024-06-25.q48-mondaishu.html</a>	

## 最新問題: 1

データのエクスポート先を制限するには、どの統合オブジェクトを使用する必要がありますか？

- A. ステージ統合
- B. セキュリティの統合
- C. ストレージ統合
- D. API 統合

**Answer: B (メッセージを残す)**

SnowPro Advanced: Architect のドキュメントと学習リソースによると、データのエクスポート先を制限するために使用する必要がある統合オブジェクトはセキュリティ統合です。セキュリティ統合は、Snowflake とサードパーティのセキュリティ サービス (Okta、Duo、Google Authenticator など) との間のインターフェイスを提供する Snowflake オブジェクトです。セキュリティ統合を使用すると、多要素認証 (MFA) を要求したり、エクスポート先を特定のネットワークやドメインに制限したりするなど、データ エクスポートに関するポリシーを適用できます。セキュリティ統合を使用して、Snowflake ユーザーのシングル サインオン (SSO) またはフェデレーション認証を有効にすることもできます<sup>1</sup>。

他のオプションは、データのエクスポート先を制限するために使用できる統合オブジェクトではないため、正しくありません。ステージ統合は Snowflake の統合オブジェクトの有効なタイプではないため、オプション A は不正解です。ステージは、内部ステージ、外部ステージ、名前付きステージなど、データ ファイルが保存されている場所を参照する Snowflake オブジェクトです。ステージは、Snowflake とサードパーティ サービス間のインターフェイスを提供する統合オブジェクトではありません<sup>2</sup>。オプション C は不正解です。ストレージ統合は、Snowflake と外部クラウドストレージ (Amazon S3、Azure Blob Storage、Google Cloud Storage など) との間のインターフェイスを提供する Snowflake オブジェクトです。ストレージ統合を使用すると、資格情報を公開せずに外部クラウドストレージからデータ ファイルに安全にアクセスできますが、データのエクスポート先を制限するために使用することはできません<sup>3</sup>。オプション D は不正解です。API 統合は、Snowflake と、Salesforce、Slack、Twilio などの REST API を使用するサードパーティ サー

ピスとの間のインターフェイスを提供する Snowflake オブジェクトです。API 統合を使用すると、CALL\_EXTERNAL\_API 関数を使用して Snowflake から外部 REST API を安全に呼び出すことができますが、データのエクスポート先を制限するために使用することはできません<sup>4</sup>。参考資料: セキュリティ統合の作成 | Snowflake ドキュメント、CREATE STAGE | Snowflake ドキュメント、ストレージ統合の作成 | Snowflake ドキュメント、API 統合の作成 | スノーフレイクのドキュメント

## 最新問題: 2

ある会社では、8 つのテーブルと 5 つの安全なビューで設定された受信共有を持っています。同社は、このシェアを本番データパイプラインの一部にすることを計画している。

インバウンドシェアに対して企業はどのようなアクションを取れるでしょうか? (2つお選びください。)

- A. 共有からテーブルのクローンを作成します。
- B. 共有に対する変更権限を付与します。
- C. 共有データベースからテーブルを作成します。
- D. 共有データベース内に追加のビューを作成します。
- E. 共有テーブルにテーブル ストリームを作成します。

**Answer: A,D (メッセージを残す)**

Snowflake のドキュメントと Web 検索結果によると、これら 2 つのアクションは受信共有で可能です。インバウンド共有は、別の Snowflake アカウント (プロバイダー) によって作成され、自分のアカウント (コンシューマー) にインポートされる共有です。受信共有を使用すると、プロバイダーによって共有されたデータにアクセスできますが、変更または削除することはできません。ただし、受信共有を使用して次のような一部のアクションを実行できます。

共有からテーブルのクローンを作成します。CREATE TABLE ... CLONE ステートメントを使用して、受信共有からテーブルのコピーを作成できます。クローンには元のテーブルと同じデータとメタデータが含まれますが、共有からは独立しています。クローンは必要に応じて変更または削除できますが、provider1 によって元のテーブルに加えられた変更は反映されません。

共有データベース内に追加のビューを作成します。CREATE VIEW ステートメントを使用して、テーブル上にビューを作成したり、受信共有からビューを作成したりできます。ビューは共有データベースに保存されますが、それらはあなたのアカウントによって所有されます。アカウント内の他のビューをクエリするのと同じようにビューをクエリできますが、share2 の基になるオブジェクトを変更したり削除したりすることはできません。

リストされている他のアクションは、コンシューマーにとって読み取り専用である共有または共有オブジェクトを変更する必要があるため、受信共有では実行できません。共有に対する変更権限を付与したり、共有データベースからテーブルを作成したり、共有テーブルにテーブル ストリームを作成したりすることはできません<sup>34</sup>。

参考文献:

共有からのオブジェクトのクローン作成 | スノーフレイクのドキュメント

共有データのビューの作成 | スノーフレイクのドキュメント

共有からのデータのインポート | スノーフレイクのドキュメント  
共有テーブル上のストリーム | スノーフレイクのドキュメント

### 最新問題: 3

ある企業は Azure で Snowflake アカウントを使用しています。アカウントには、SCIM ID プロバイダーとして ADFS を使用して SAML SSO が設定されています。Private Link の接続を検証するために、アーキテクトは次の手順を実行しました。

- \* ユーザー名/パスワード アカウントでログインすることで、プライベート リンク URL が機能することを確認しました
- \* プライベート リンク URL に対して nslookups を実行して DNS 解決を確認
- \* SnowCD を使用して検証された接続
- \* 会社の IP アドレス範囲を使用するように設定されたネットワーク ポリシーを使用してパブリック アクセスを無効にしました。ただし、SSO を使用して会社アカウントにログインすると、次のエラー メッセージが表示されます。

IP XX.XXX.XX.XX は、Snowflake へのアクセスを許可されていません。ローカルのセキュリティ管理者に問い合わせてください。

このエラーを解決し、プライベート リンクのみを使用してアカウントにアクセスできるようにするには、アーキテクトはどのような手順を実行する必要がありますか? (2つお選びください。)

- A. プライベート リンク URL を使用するように Azure セキュリティ統合を変更します。
- B. エラー メッセージ内の IP アドレスをネットワーク ポリシーの許可リストに追加します。
- C. system\$generate\_scim\_access\_token を使用して新しい SCIM アクセス トークンを生成し、Azure AD に保存します。
- D. プライベート リンク URL を使用するように Azure AD SSO の構成を更新します。
- E. Snowflake サポートでケースを開き、プライベート リンク URL のアカウントへのアクセスを承認します。

**Answer: B,D (メッセージを残す)**

エラー メッセージは、エラー メッセージ内の IP アドレスがネットワーク ポリシーの許可リストに含まれていないため、Snowflake へのアクセスが許可されていないことを示しています。ネットワーク ポリシーは、IP アドレスまたは範囲に基づいて Snowflake へのアクセスを制限できる機能です。このエラーを解決するには、アーキテクトは次の手順を実行する必要があります。

エラー メッセージ内の IP アドレスをネットワーク ポリシーの許可リストに追加します。これにより、IP アドレスがプライベート リンク URL を使用して Snowflake にアクセスできるようになります。あるいは、セキュリティ上の理由からネットワーク ポリシーが必要ない場合、アーキテクトはネットワーク ポリシーを無効にすることもできます。

プライベート リンク URL を使用するように Azure AD SSO の構成を更新します。これにより、SSO 認証プロセスでパブリック URL ではなくプライベート リンク URL が使用されるようになります。構成は、Azure ドキュメントの手順に従って更新できます<sup>1</sup>。

これら 2 つの手順によりエラーが解決され、プライベート リンクのみを使用してアカウントにアクセスできるようになります。他のオプションは、このシナリオには必要または関係ありません。

セキュリティ統合は SSO 認証ではなく SCIM プロビジョニングに使用されるため、プライベート リンク URL を使用するよう Azure セキュリティ統合を変更する必要はありません。SCIM アクセス トークンは SSO 認証ではなく SCIM プロビジョニングに使用されるため、system \$generate\_scim\_access\_token を使用して新しい SCIM アクセス トークンを生成し、それを Azure AD に保存する必要はありません。アカウントへのプライベート リンク URL のアクセスを承認するために Snowflake サポートにケースを開く必要はありません。承認はアカウント管理者が SYSTEM\$AUTHORIZE\_PRIVATELINK 関数を使用して行うことができるためです<sup>2</sup>。

#### 最新問題: 4

Snowflake がテーブル内のクラスタリング情報を監視するために提供するシステム関数 (2 つ選択してください)。

- A. SYSTEM\$CLUSTERING\_INFORMATION
- B. SYSTEM\$CLUSTERING\_USAGE
- C. SYSTEM\$CLUSTERING\_DEPTH
- D. SYSTEM\$CLUSTERING\_KEYS
- E. SYSTEM\$CLUSTERING\_PERCENT

**Answer: A,C (メッセージを残す)**

Snowflake のドキュメントによると、これら 2 つのシステム関数は、テーブル内のクラスタリング情報を監視するために Snowflake によって提供されています。システム関数は、アクションを実行したり、システムに関する情報を返したりできる関数のタイプです。クラスタリング キーは、テーブル内の 1 つ以上の列に基づいてマイクロパーティション全体でデータを整理できる機能です。クラスタリングにより、スキャンするファイルの数が減り、クエリのパフォーマンスが向上します。

SYSTEM\$CLUSTERING\_INFORMATION は、テーブル内の 1 つ以上の列に基づいてテーブルのクラスタリング情報 (平均クラスタリング深度など) を返すシステム関数です。この関数はテーブル名とオプションの列名または式を引数として受け取り、クラスタリング情報を含む JSON 文字列を返します。クラスタリング情報には、キーによるクラスタリング、総パーティション数、総定数パーティション数、平均オーバーラップ数、および平均深さ 1 が含まれます。

SYSTEM\$CLUSTERING\_DEPTH は、テーブル内の 1 つ以上の列に基づいてテーブルのクラスタリングの深さを返すシステム関数です。この関数はテーブル名とオプションの列名または式を引数として受け取り、クラスタリングの深さを含む整数値を返します。クラスタリングの深さは、テーブル内のマイクロパーティションの重複するマイクロパーティションの最大数です。クラスタリングの深さが低いほど、クラスタリングが良好であることを示します<sup>2</sup>。

参考文献:

SYSTEM\$CLUSTERING\_INFORMATION | スノーフレイクのドキュメント

SYSTEM\$CLUSTERING\_DEPTH | スノーフレイクのドキュメント

#### 最新問題: 5

標準の仮想ウェアハウス ポリシーは Snowflake でどのように機能しますか?

- A. 追加のクラスターを開始するのではなく、実行中のクラスターを完全にロードしたままにすることでクレジットを節約します。
- B. クラスターを少なくとも 6 分間ビジー状態に保つクエリ負荷があるとシステムが推定した場合にのみ開始されます。
- C. クラスターを少なくとも 2 分間ビジー状態に保つクエリ負荷があるとシステムが推定した場合にのみ開始されます。
- D. クレジットを節約する代わりに追加のクラスターを開始することで、キューイングを防止または最小限に抑えます。

**Answer: D (メッセージを残す)**

標準仮想ウェアハウス ポリシーは、Snowflake のマルチクラスター ウェアハウスで使用できる 2 つのスケールリング ポリシーのうちの 1 つです。もう 1 つの政策は経済政策です。標準ポリシーは、キュー内のクエリの数に関係なく、現在のクラスターが完全にロードされるとすぐに追加のクラスターを開始することにより、キューを防止または最小限に抑えることを目的としています。このポリシーはクエリのパフォーマンスと同時実行性を向上させることができますが、追加のクラスターを開始する前に実行中のクラスターを完全にロードした状態に保つことでクレジットを節約しようとする経済ポリシーよりも多くのクレジットを消費する可能性もあります。スケールリング ポリシーは、ウェアハウスの作成または変更時に設定でき、いつでも変更できます。

参考文献:

Snowflake ドキュメント: マルチクラスター ウェアハウス

Snowflake ドキュメント: マルチクラスター ウェアハウスのスケールリング ポリシー

#### 最新問題: 6

企業は、自社の製品カタログ データをパートナーの 1 人と共有する必要があります。製品カタログ データは、product\_category と product\_details の 2 つのデータベース テーブルに保存されます。両方のテーブルは、product\_id 列によって結合できます。データ アクセスは管理される必要があります。パートナーのみがレコードにアクセスできるようにする必要があります。

パートナーは Snowflake の顧客ではありません。パートナーはクラウドストレージとして Amazon S3 を使用しています。

必要な Snowflake 機能を使用しながら、最もコスト効率が高く安全な設計はどれですか？

- A. S3 バケットを宛先として安全なデータ共有を使用します。
- B. product\_category および product\_details データ セットを Snowflake Marketplace に公開します。
- C. パートナーのデータベース ユーザーを作成し、必要なデータ セットへのアクセスを許可します。
- D. パートナーのリーダー アカウントを作成し、データ セットを安全なビューとして共有します。

**Answer: (解答を表示する)**

リーダー アカウントは、外部ユーザーが Snowflake の顧客でなくてもプロバイダー アカウントによって共有されるデータにアクセスできるようにする Snowflake アカウントの一種です。リーダー アカウントはプロバイダー アカウントによって作成および管理でき、Snowflake Web イン

ターフェイスまたは JDBC/ODBC ドライバーを使用して共有データをクエリできます。リーダーアカウントは、クエリによって消費されたクレジットに基づいてプロバイダー アカウントに請求されます<sup>1</sup>。セキュア ビューは、行レベルのセキュリティ フィルターを基になるテーブルに適用し、ユーザーがアクセスできないデータをマスクするビューのタイプです。安全なビューを読者アカウントと共有して、データへのきめ細かく管理されたアクセスを提供できます<sup>2</sup>。このシナリオでは、パートナーのリーダー アカウントを作成し、データ セットを安全なビューとして共有することが、必要な Snowflake 機能を使用しながら、最もコスト効率が高く安全な設計となります。理由は次のとおりです。

これにより、S3 バケットを宛先として使用する場合のデータ転送とストレージのコスト、およびデータが不正なアクセスや変更さらされる可能性のあるセキュリティ リスクが回避されます。これにより、Snowflake Marketplace でデータ セットを公開する際の複雑さとオーバーヘッド、およびデータの所有権と価格設定の制御が失われる可能性が回避されます。

これにより、パートナーのデータベース ユーザーを作成し、必要なデータ セットへのアクセスを許可する必要がなくなります。そのためには、パートナーは Snowflake アカウントを持ち、プロバイダーのリソースを消費する必要があります。

参考文献:

読者アカウント

安全なビュー

#### 最新問題: 7

アーキテクトは、QUERY\_HISTORY 関数を使用して、パフォーマンスが低下したクエリのトラブルシューティングを行っています。アーキテクトは、COMPILATIONTIME が EXECUTIONTIME より大きいことを観察します。

その理由は何でしょうか？

- A. クエリは非常に大規模なデータセットを処理しています。
- B. クエリには過度に複雑なロジックが含まれています。
- C. クエリは実行のためにキューに入れられます。
- D. クエリはリモート ストレージから読み取り中です。

**Answer: B (メッセージを残す)**

コンパイル時間は、オプティマイザーがクエリを効率的に実行するための最適なクエリ プランを作成するのにかかる時間です。また、パーティション ファイルの一部のプルーニングも行われ、クエリの実行が効率化されます<sup>2</sup>。コンパイル時間が実行時間よりも長い場合、オプティマイザが実際のクエリの実行よりもクエリの分析に多くの時間を費やしたことを意味します。これは、クエリに複数の結合、サブクエリ、集計、式などの過度に複雑なロジックが含まれていることを示している可能性があります。クエリの複雑さはクエリ プランのサイズと品質にも影響を与える可能性があり、クエリのパフォーマンスに影響を与える可能性があります<sup>3</sup>。コンパイル時間を短縮するために、アーキテクトはクエリ ロジックの簡素化、ビューまたは共通テーブル式 (CTE) の使用を試みることができます。クエリをより小さな部分に分割するか、ヒントを使用してオプティマイ

ザーをガイドします。アーキテクトは、EXPLAIN コマンドを使用してクエリ プランを調査し、潜在的なボトルネックや非効率性を特定することもできます4。

1: SnowPro Advanced: アーキテクト | 学習ガイド 5

2: スノーフレークのドキュメント | クエリプロファイルの概要 6

3: Snowflake のコンパイル時間が実行時間より長くなる理由を理解する 7

4: スノーフレークのドキュメント | クエリパフォーマンスの最適化 8

: SnowPro Advanced: アーキテクト | 学習ガイド

: クエリプロファイルの概要

: Snowflake のコンパイル時間が実行時間よりも長くなる理由を理解する

: クエリのパフォーマンスの最適化

### 最新問題: 8

Snowflake でクラスター キーの優先順位を付ける場合に推奨されるベスト プラクティスはどの手順ですか? (2つお選びください。)

A. 結合述語で頻繁に使用される列を選択します。

B. クラスタリング キーとコスト効率をサポートするには、より低いカーディナリティの列を選択します。

C. 一意の行数を最大にするために、ナノ秒の TIMESTAMP 列を選択します。

D. 選択フィルターで最も頻繁に使用されるクラスター列を選択します。

E. GROUP BY 句でアクティブに使用されるクラスター列を選択します。

**Answer:** ([解答を表示する](#))

Snowflake のドキュメントによると、クラスタリング キーを選択するためのベスト プラクティスは次のとおりです。

結合述語で頻繁に使用される列を選択します。これにより、スキャンして結合する必要があるマイクロパーティションの数が減り、結合パフォーマンスが向上します。

選択フィルターで最も頻繁に使用される列を選択します。これにより、フィルター述語に一致しないマイクロパーティションをスキップすることでスキャン効率を向上させることができます。性別や国など、カーディナリティの低い列をクラスタリング キーとして使用することは避けてください。これにより、クラスタリングが不十分になり、メンテナンスコストが高くなる可能性があります。

TIMESTAMP 列はカーディナリティが非常に高く、他の列との相関が低い傾向があるため、ナノ秒を含む TIMESTAMP 列の使用は避けてください。これにより、クラスタリングが不十分になり、メンテナンスコストが高くなる可能性もあります。

重複した値や NULL を含む列は使用しないでください。クラスタリングに歪みが生じ、プルーニングの利点が減じる可能性があります。

クエリで複数のフィルターまたは結合述語を使用する場合は、複数の列をクラスター化します。これにより、より多くのマイクロパーティションがプルーニングされる可能性が高まり、圧縮率が向上します。

クラスタリングは、特に小規模または中規模のテーブル、または頻繁にクエリや更新が行われないテーブルの場合には、常に有効であるとは限りません。クラスタリングでは、最初にデータをクラスタリングし、長期にわたってクラスタリングを維持するために追加のコストが発生する可能性があります。

参考文献:

クラスタリングキーとクラスタ化テーブル | スノーフレイクのドキュメント

[テーブルのクラスタリングを選択する場合の考慮事項 | スノーフレイクのドキュメント]

### 最新問題: 9

IT セキュリティ チームは、組織のシステムの多くに対してクレデンシャル スタッフィング攻撃が進行中であることを確認しました。

Snowflake への最近および継続的なログイン試行を見つける最良の方法は何ですか？

- A. LOGIN\_HISTORY 情報スキーマ テーブル関数を呼び出します。
- B. SNOWFLAKE データベースの ACCOUNT\_USAGE スキーマの LOGIN\_HISTORY ビューをクエリします。
- C. Snowflake UI の [履歴] タブを表示し、テキストを含む SQL テキストのフィルターを設定します。  
"ログイン"。
- D. Snowflake UI の [アカウント] タブの [ユーザー] セクションを表示し、最終ログイン列を確認します。

**Answer: B** ([メッセージを残す](#))

このビューは、過去 365 日 (1 年) 以内の Snowflake ユーザーによるログイン試行をクエリするために使用できます。イベントのタイムスタンプ、ユーザー名、クライアント IP、認証方法、成功または失敗のステータス、ログイン試行が失敗した場合のエラー コードまたはメッセージなどの情報が提供されます。このビューをクエリすることで、IT セキュリティ チームは、Snowflake への不審なログイン試行または悪意のあるログイン試行を特定し、資格情報スタッフィング攻撃を防ぐための適切な措置を講じることができます<sup>1</sup>。他のオプションは、Snowflake への最近および継続的なログイン試行を見つけるための最良の方法ではありません。オプション A は不正解です。LOGIN\_HISTORY 情報スキーマ テーブル関数は過去 7 日以内のログイン イベントのみを返します。これでは、長期間にわたるクレデンシャル スタッフィング攻撃を検出するには不十分な可能性があります<sup>2</sup>。Snowflake UI の [履歴] タブには、現在のユーザーまたはロールによって実行されたクエリのみが表示され、他のユーザーまたはロールのログイン イベントは表示されないため、オプション C は不正解です<sup>3</sup>。オプション D は不正解です。Snowflake UI の [アカウント] タブの [ユーザー] セクションには、各ユーザーの最終ログイン時刻のみが表示され、ログイン試行や失敗の詳細は表示されません。

### 最新問題: 10

次のコマンドのうち、ウェアハウス クレジットを使用するのはどれですか？

- A. 'SNOWFL%' のようなテーブルを表示します。

B. SNOWFLAKE から MAX(FLAKE\_ID) を選択します。

C. スノーフレイクから COUNT(\*) を選択します。

D. FLAKE\_ID による SNOWFLAKE グループから COUNT(FLAKE\_ID) を選択します。

**Answer: B,C,D (メッセージを残す)**

ウェアハウス クレジットは、Snowflake の各仮想ウェアハウスで使用される処理時間の支払いに使用されます。

仮想ウェアハウスは、クエリの実行、データのロード、その他の DML 操作の実行を可能にするコンピューティング リソースのクラスターです。ウェアハウス クレジットは、使用する仮想ウェアハウスの数、実行時間、サイズに基づいて課金されます<sup>1</sup>。

質問にリストされているコマンドのうち、次のコマンドはウェアハウス クレジットを使用しません。

SELECT MAX(FLAKE\_ID) FROM SNOWFLAKE: このコマンドは、仮想ウェアハウスの実行が必要なクエリであるため、ウェアハウス クレジットを使用します。クエリは SNOWFLAKE テーブルをスキャンし、FLAKE\_ID 列 2 の最大値を返します。したがって、選択肢 B が正しいです。

SELECT COUNT(\*) FROM SNOWFLAKE: このコマンドは、仮想ウェアハウスの実行が必要なクエリであるため、ウェアハウス クレジットも使用します。クエリは SNOWFLAKE テーブルをスキャンし、テーブル内の行数を返します<sup>3</sup>。したがって、選択肢 C が正しいです。

SELECT COUNT(FLAKE\_ID) FROM SNOWFLAKE GROUP BY FLAKE\_ID: このコマンドこれは仮想ウェアハウスの実行が必要なクエリであるため、ウェアハウス クレジットも使用されます。クエリは SNOWFLAKE テーブルをスキャンし、FLAKE\_ID 列の個別の値ごとに行数を返します<sup>4</sup>。したがって、選択肢 D が正しいです。

ウェアハウス クレジットを使用しないコマンドは次のとおりです。

SHOW TABLES LIKE 'SNOWFL%': このコマンドは、仮想ウェアハウスの実行を必要としないメタデータ操作であるため、ウェアハウス クレジットを使用しません。このコマンドは、現在のデータベースと schema5 のパターン 'SNOWFL%' に一致するテーブルの名前を返します。したがって、選択肢 A は不正解です。

参考資料: : コンピューティング コストについて : MAX 関数 : COUNT 関数 : GROUP BY 句 : SHOW TABLES

### 最新問題: 11

アーキテクトは、複数のソースから小さな CSV ファイルを受信するデータ パイプラインを設計しました。すべてのファイルは 1 つの場所に配置されます。特定のファイルは、copy コマンドを使用して Snowflake テーブルにロードするためにフィルタリングされます。読み込み性能が悪い。

データ読み込みパフォーマンスを向上させるためにどのような変更を加えることができますか?

A. 仮想ウェアハウスのサイズを増やします。

B. マルチクラスター ウェアハウスを作成し、小さいファイルをマージして大きいファイルを作成します。

C. ファイルのスキャンを回避するために、特定のストレージ ランディング バケットを作成します。

D. ファイル形式を CSV から JSON に変更します。

**Answer: B (メッセージを残す)**

Snowflake のドキュメントによると、データ ファイルの準備とステージングに関するいくつかのベスト プラクティスとガイドラインに従うことで、データ読み込みのパフォーマンスを向上させることができます。推奨事項の 1 つは、圧縮されたサイズが約 100 ~ 250 MB (またはそれ以上) のデータ ファイルを目指すことです。これにより、負荷に対する並列操作の数が最適化されます。このサイズ範囲を達成するには、小さいファイルを集約し、大きいファイルを分割する必要があります。もう 1 つの推奨事項は、ロードにマルチクラスター ウェアハウスを使用することです。これにより、負荷の需要に応じてコンピューティング リソースをスケールアップまたはスケールアウトできるようになります。単一クラスターのウェアハウスでは、負荷の同時実行性とスループットを効率的に処理できない場合があります。したがって、マルチクラスター ウェアハウスを作成し、小さなファイルを結合して大きなファイルを作成することで、データの読み込みパフォーマンスを向上させることができます。参考文献:

データロードに関する考慮事項

データファイルの準備

データロードの計画

最新問題: 12

ストレージ統合を作成する目的は何ですか? (3つお選びください。)

A. クラウド プロバイダーのキー管理サービスで維持されるマスター暗号化キーを使用して、Snowflake データへのアクセスを制御します。

B. Snowflake アカウントをホストするクラウド プロバイダーに関係なく、外部クラウド プロバイダー用に生成された ID およびアクセス管理 (IAM) エンティティを保存します。

C. 1 つの Snowflake オブジェクトを使用して複数の外部ステージをサポートします。

D. ステージを作成するとき、またはデータをロードまたはアンロードするときに資格情報を指定しないでください。

E. パブリック インターネットを経由せずに VPC 間の直接的で安全な接続を可能にするプライベート VPC エンドポイントを作成します。

F. 複数のクラウドプロバイダーからの認証情報を 1 つの Snowflake オブジェクトで管理します。

**Answer: (解答を表示する)**

ストレージ統合は、Amazon S3、Google Cloud Storage、Microsoft Azure Blob Storage などの外部クラウド プロバイダー用に生成された ID およびアクセス管理 (IAM) エンティティを保存する Snowflake オブジェクトです。この統合により、Snowflake は、外部ステージで参照される外部ストレージの場所との間でデータを読み書きできるようになります<sup>1</sup>。

ストレージ統合を作成する目的の 1 つは、1 つの Snowflake オブジェクトを使用して複数の外部ステージをサポートすることです。統合では、統合を使用する外部ステージを作成するときにユーザーが指定できる場所を制限するバケット (およびオプションのパス) をリストできます。多

くの外部ステージオブジェクトは、異なるバケットとパスを参照し、認証に同じストレージ統合を使用できることに注意してください1。

したがって、選択肢 C が正しいです。

ストレージ統合を作成するもう 1 つの目的は、ステージの作成時またはデータのロードまたはアンロード時に資格情報の入力を回避することです。統合は名前付きのファーストクラスの Snowflake オブジェクトであり、秘密キーやアクセス トークンなどの明示的なクラウド プロバイダーの資格情報を渡す必要がなくなります。統合オブジェクトには IAM ユーザー ID が保存され、組織の管理者はクラウドプロバイダーアカウント 1 の IAM ユーザー権限を付与します。したがって、選択肢 D が正しいです。

ストレージ統合を作成する 3 番目の目的は、Snowflake アカウントをホストするクラウド プロバイダーに関係なく、外部クラウド プロバイダー用に生成された IAM エンティティを保存することです。たとえば、Snowflake アカウントが Azure または Google Cloud Platform でホストされている場合でも、Amazon S3 のストレージ統合を作成できます。これにより、Snowflake1 を使用して、さまざまなクラウド プラットフォーム間でデータにアクセスできるようになります。

したがって、選択肢 B が正しいです。

オプション A は不正解です。ストレージ統合の作成では、マスター暗号化キーを使用して Snowflake データへのアクセスが制御されません。Snowflake は階層キー モデルを使用してすべてのデータを暗号化し、マスター暗号化キーは Snowflake によって管理されるか、クラウド プロバイダーのキー管理サービスを使用して顧客によって管理されます。これはストレージ統合機能とは独立しています2。

オプション E は不正解です。ストレージ統合を作成してもプライベート VPC エンドポイントは作成されません。

プライベート VPC エンドポイントは、パブリック インターネットを経由せずに VPC 間の直接的で安全な接続を可能にするネットワーク構成オプションです。これは、ストレージ統合機能からも独立しています3。

オプション F は不正解です。ストレージ統合を作成しても、複数のクラウド プロバイダーからの認証情報が 1 つの Snowflake オブジェクトで管理されないからです。ストレージ統合は 1 つのクラウド プロバイダーに固有であり、アクセスするクラウド プロバイダーごとに個別の統合を作成する必要があります4。

参照: : 暗号化と復号化 : Snowflake のプライベート リンク : ストレージ統合の作成 : オプション 1: Amazon S3 にアクセスするための Snowflake ストレージ統合の設定

### 最新問題: 13

あなたは組織内のスノーフレイク アーキテクトです。ビジネス チームは、Tableau を通じて視覚化できるデータをロードする必要があるユースケースをデプロイすることにしました。毎日新しいデータが入ってくるので、古いデータは必要なくなります。

この場合、コストを最適化するためにどのタイプのテーブルを使用するか

A. トランジェント

B. 一時的

## C. 永続的

**Answer: A (メッセージを残す)**

一時テーブルは、フェイルセーフ期間がなく、0日または1日のタイムトラベル保持期間を持つことができる Snowflake のテーブルのタイプです。一時テーブルは、簡単に再現または複製できる一時データまたは中間データに適しています<sup>1</sup>。

一時テーブルは、セッションが終了するか現在のユーザーがログアウトすると自動的に削除される Snowflake のテーブルのタイプです。一時テーブルにはストレージのコストはかかりませんが、他のユーザーやセッションには表示されません<sup>2</sup>。

永続テーブルは、フェイルセーフ期間と最大 90 日間のタイムトラベル保持期間を持つ Snowflake のテーブルのタイプです。永続テーブルは、偶発的または悪意のある削除から保護する必要がある永続的で耐久性のあるデータに適しています<sup>3</sup>。

この場合、ユースケースでは、Tableau を通じて視覚化できるいくつかのデータをロードする必要があります。データは毎日更新されるため、古いデータは必要なくなります。したがって、この場合にコストを最適化するために使用するテーブルの最適なタイプは一時テーブルです。これは、フェイルセーフコストが発生せず、タイムトラベルの保持期間が0日または1日と短いからです。こうすることで、不要なストレージコストが発生させることなく、Tableau でデータをロードしてクエリした後、削除または上書きすることができます。

参考資料: : 一時テーブル : 一時テーブル : タイムトラベルの理解と使用

### 最新問題: 14

結果セット キャッシュの特徴にはどのようなものがありますか? 3つお選びください。)

- A. タイムトラベルクエリは、結果セット キャッシュに対して実行できます。
- B. Snowflake はデータ結果を 24 時間保持します。
- C. クエリの永続化された結果が使用されるたびに、24 時間の保持期間がリセットされます。
- D. 結果キャッシュに保存されるデータはストレージコストの原因となります。
- E. 保持期間は最大 31 日間リセットできます。
- F. 結果セットのキャッシュはウェアハウス間で共有されません。

**Answer: B,C,E (メッセージを残す)**

包括的かつ詳細な説明: SnowPro Advanced: Architect のドキュメントと学習リソースによると、結果セット キャッシュの特徴の一部は次のとおりです。

Snowflake はデータ結果を 24 時間保持します。これは、結果セット キャッシュには過去 24 時間以内に実行されたすべてのクエリの結果が保持され、同じクエリが再度送信され、基になるデータが変更されていない場合に再利用できることを意味します<sup>1</sup>。

クエリの永続化された結果が使用されるたびに、24 時間の保持期間がリセットされます。これは、結果セット キャッシュにより、結果が再利用されるたびに、クエリが最初に実行された日時から最大 31 日間まで、結果の有効期間が延長されることを意味します<sup>1</sup>。

保存期間は最大 31 日間リセットできます。これは、結果が再利用されるかどうかに関係なく、結果セット キャッシュは 31 日後に結果をパージすることを意味します。31 日後、次回クエリが送信されると、新しい結果が生成され、保持されます<sup>1</sup>。

他のオプションは結果セット キャッシュの特性ではないため、正しくありません。タイム トラベル クエリは結果セット キャッシュに対して実行できないため、オプション A は不正解です。タイム トラベル クエリは、AS OF 句を使用して、結果セットのキャッシュではなく、ストレージ レイヤーに保存されている履歴データにアクセスします<sup>2</sup>。オプション D は不正解です。結果セット キャッシュに格納されたデータはストレージ コストに影響しません。結果セットのキャッシュはサービス層によって維持され、追加料金は発生しません<sup>1</sup>。結果セットのキャッシュはウェアハウス間で共有されるため、オプション F は不正解です。結果セット キャッシュは仮想ウェアハウス全体で利用できるため、基になるデータが変更されていない限り、あるユーザーに返されたクエリ結果は、同じクエリを実行するシステム上の他のユーザーも利用できます<sup>1</sup>。参考資料: 永続化されたクエリ結果の使用 | スノーフレイクのドキュメント、タイムトラベル | スノーフレイクのドキュメント

### 最新問題: 15

アーキテクトは次のコマンドを順番に入力しました。

```
CREATE DATABASE SANDBOX;  
CREATE ROLE INTERN;  
CREATE TABLE SANDBOX.PUBLIC.AGENDA (ID INT, ITEMS STRING);  
GRANT SELECT ON ALL TABLES IN SCHEMA SANDBOX.PUBLIC TO ROLE INTERN;  
GRANT ROLE INTERN TO USER USER1;
```

USER1 がテーブルを見つけることができません。

最小特権の原則を使用してテーブルを検索するには、アーキテクトが USER1 に対して実行する必要があるコマンドは次のどれですか? (2つお選びください。)

- A. ロールパブリックをロールインターンに付与します。
- B. ロール インターンにデータベース サンドボックスの使用を許可します。
- C. SCHEMA Sandbox.PUBLIC の使用をロールインターンに許可します。
- D. データベース サンドボックスの所有権をユーザー インターンに付与します。
- E. データベース サンドボックスに関するすべての権限をインターンの役割に付与します。

**Answer:** ([解答を表示する](#))

最小権限の原則に従って、アーキテクトは USER1 が SANDBOX データベース内のテーブルを検索するために必要な最小限の権限を付与する必要があります。

USER1 が PUBLIC スキーマ内のテーブルにアクセスできるようにするには、SANDBOX データベースおよび SANDBOX.PUBLIC スキーマに対する USAGE 権限が必要です。したがって、コマンド B と C は実行するのに正しいコマンドです。

コマンド A は不正解です。PUBLIC ロールはアカウント内のすべてのユーザーとロールに自動的に付与され、デフォルトでは SANDBOX データベースに対する権限がありません。

コマンド D は不正解です。これは、SANDBOX データベースの所有権をアーキテクトから USER1 に譲渡することになりますが、これは必要なく、最小特権の原則に違反します。

コマンド E は不正解です。このコマンドは、SANDBOX データベース上で可能なすべての権限を USER1 に付与することになりますが、これも必要ではなく、最小権限の原則に違反します。

参考資料: : Snowflake - 最小特権の原則 : Snowflake - アクセス制御特権 : Snowflake - パブリックロール : Snowflake - 所有権と付与

### 最新問題: 16

データ アナリストのグループには、アナリストの役割が付与されています。テーブル、ビュー、その他のオブジェクトを作成および変更して独自のデータをロードできる Snowflake データベースが必要です。アナリストは、自分の役割以外の他の Snowflake ユーザーにこのデータへのアクセスを許可するべきではありません。

これらの要件はどのように満たされるべきでしょうか？

- A. データベースに対して ANALYST\_ROLE OWNERSHIP を付与しますが、ANALYST\_ROLE にアカウントに対する MANAGE GRANTS 権限がないことを確認してください。
- B. データベースの SYSADMIN 所有権を付与しますが、データベースに対するスキーマ作成権限を ANALYST\_ROLE に付与します。
- C. データベース内のすべてのスキーマを SYSADMIN が所有する管理アクセス スキーマにし、作成する必要があるオブジェクトの種類ごとに、各スキーマの作成権限を ANALYST\_ROLE に付与します。
- D. データベースに対する ANALYST\_ROLE 所有権を付与しますが、データベース権限における将来の [オブジェクト タイプ] の所有権を SYSADMIN に付与します。

**Answer: A** ([メッセージを残す](#))

データベースに ANALYST\_ROLE OWNERSHIP を付与すると、アナリストはデータベース内のテーブル、ビュー、その他のオブジェクトを作成および変更できるようになります。ただし、アナリストが自分のロール以外の他の Snowflake ユーザーにこのデータへのアクセスを許可しないようにするために、ANALYST\_ROLE にはアカウントに対する MANAGE GRANTS 権限を付与しないでください。MANAGE GRANTS 権限を使用すると、ロールは、オブジェクトの所有権に関係なく、アカウント内の任意のオブジェクトに対する権限を付与または取り消すことができます<sup>1</sup>。したがって、ANALYST\_ROLE からこの権限を削除すると、アナリストはデータベース内で所有するオブジェクトに対する権限のみを付与または取り消すことができ、アカウント内の他のオブジェクトに対する権限を付与または取り消すことはできません<sup>2</sup>。

他のオプションは次の理由により正しくありません。

B)。データベースの SYSADMIN 所有権を付与し、データベースに対するスキーマ作成権限を ANALYST\_ROLE に付与すると、アナリストはデータベース内にスキーマを作成できますが、これらのスキーマ内のテーブル、ビュー、またはその他のオブジェクトを作成または変更することはできません。アナリストは、スキーマ内のオブジェクトを作成または変更するには、各スキーマに対する create [object type] 権限を持っている必要があります<sup>3</sup>。

C)。データベース内のすべてのスキーマを SYSADMIN が所有する管理アクセス スキーマにし、作成する必要があるオブジェクトの種類ごとに、各スキーマに対する作成権限を ANALYST\_ROLE に付与すると、アナリストはスキーマ内のオブジェクトを作成および変更できますが、スキーマ内のオブジェクトを変更することはできません。これらのオブジェクトに対する権限を付与または取り消します。管理アクセス スキーマは、オブジェクトの所有権に関係なく、

スキーマ内のオブジェクトへのアクセスに対して明示的な許可を必要とするスキーマです4。したがって、アナリストは、スキーマ内のオブジェクトに対する権限を付与または取り消すために、各スキーマに対する付与権限を持っている必要があります。

D)。データベースに対する ANALYST\_ROLE 所有権を付与し、データベース権限内の将来の [オブジェクト タイプ] に対する所有権を SYSADMIN に付与すると、アナリストはデータベース内でオブジェクトを作成および変更できるだけでなく、それらのオブジェクトに対する権限を付与または取り消すこともできます。将来の所有権

データベース権限の [オブジェクト タイプ] を使用すると、ロールは、データベース内に作成される指定されたタイプの新しいオブジェクトの所有者に自動的になれます。したがって、この権限を SYSADMIN に付与しても、アナリストは SYSADMIN がデータベース内に作成したオブジェクトにアクセスしたり変更したりすることを防ぐことができなくなります。

参考文献:

1: GRANTS 権限の管理 | スノーフレイクのドキュメント

2: アクセス制御権限 | スノーフレイクのドキュメント

3: スキーマの作成 | スノーフレイクのドキュメント

4: 管理されたアクセス | スノーフレイクのドキュメント

: グラント | スノーフレイクのドキュメント

: 将来のオブジェクトの所有権 | スノーフレイクのドキュメント

: 所有権と権限の取り消し | スノーフレイクのドキュメント

有効な **ARA-R01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ARA-R01 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **ARA-R01** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ARA-R01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ARA-R01 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Snowflake/ARA-R01-mondaishu.html>  
(**16330%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

アーキテクトは、大量の構造化データおよび半構造化データを保存および分析するために、Snowflake アカウントとデータベース戦略を設計する必要があります。社内には多くの事業部や部門があります。要件は、スケーラビリティ、セキュリティ、コスト効率です。

どのようなデザインを使用する必要がありますか？

**A.** データの量や複雑さに関係なく、すべてのデータ ストレージと分析のニーズに対応する単一の Snowflake アカウントとデータベースを作成します。

**B.** データの分離とセキュリティを確保するために、部門または事業単位ごとに個別の Snowflake アカウントとデータベースを設定します。

**C.** Snowflake のデータ レイク機能を使用して、構造化スキーマやインデックスを必要とせずに、すべてのデータを中央の場所に保存して分析します。

D. コア ビジネス データには一元化された Snowflake データベースを使用し、部門またはプロジェクト固有のデータには別のデータベースを使用します。

**Answer: D** ([メッセージを残す](#))

さまざまな事業単位や部門の大量の構造化データおよび半構造化データを保存および分析するための最適な設計は、コア ビジネス データには一元化された Snowflake データベースを使用し、部門またはプロジェクト固有のデータには別のデータベースを使用することです。この設計により、Snowflake の次の機能を活用することで、スケーラビリティ、セキュリティ、コスト効率が実現します。

データベースのクローン作成: データベースのクローンを作成すると、元のデータベースと同じデータ ファイルを共有するゼロコピー クローンが作成されますが、個別に変更できます。これにより、ストレージコストが削減され、さまざまな目的での高速かつ一貫したデータ レプリケーションが可能になります。

データベース共有: データベースを共有すると、データベース内のデータのサブセットへの安全で管理されたアクセスを他の Snowflake アカウントまたはコンシューマーに許可できます。これにより、さまざまなビジネスユニットや外部パートナー間でのデータコラボレーションと収益化が可能になります。

ウェアハウスのスケーリング: ウェアハウスをスケーリングすると、さまざまなワークロードのパフォーマンスとコストの要件に合わせてウェアハウスのサイズと同時実行性を調整できます。これにより、さまざまなデータ分析ニーズに合わせた最適なリソース利用と柔軟性が可能になります。参考文献: Snowflake ドキュメント:

データベースのクローン作成、Snowflake ドキュメント: データベース共有、[Snowflake ドキュメント:

ウェアハウスのスケーリング]

**最新問題: 18**

ユーザーは、開始から終了まで 10 分の時間枠内で次のコマンドを順番に実行しています。

```
use role sysadmin;
use warehouse compute_wh;
use schema sales.public;
create table t_sales (numeric integer) data_retention_time_in_days=1;
create or replace table t_sales_clone clone t_sales at(offset => -60*30);
```

このクエリの出力はどうなるでしょうか？

- A. テーブル T\_SALES\_CLONE が正常に作成されました。
- B. タイム トラベル データはテーブル T\_SALES では使用できません。
- C. オフセット -> はクローン操作では有効な句ではありません。
- D. 構文エラー行 1 の位置 58 が予期しない 'at' です。

**Answer: (**[解答を表示する](#)**)**

クエリは、保持期間を考慮したオフセットを使用して、既存の table\_sales に対してクローン操作を実行します。使用されている構文は Snowflake でテーブルのクローンを作成するために正し

く、`theat(offset => -60*30)` 句の使用は有効です。これは、クローンが 30 分前 (60 秒 \*) のテーブルの状態に基づく必要があることを指定します。

30)。`tablet_sales` が存在し、過去 30 分以内に変更されていると仮定

し、`data_retention_time_in_daysis` が 1 日に設定されていることを考慮すると (これにより、過去 24 時間のタイム トラベル クエリが有効になります)、テーブル `t_sales_clonew` は、`clone` コマンドが実行される 30 分前の `t_sales` の状態に基づいて正常に作成されるはずでず。発行済み。

#### 最新問題: 19

アーキテクトは、`ORDER_ADMIN` ユーザーのグループに、テーブルに対する権限を付与せずに、`ORDERS` テーブル内の古いデータをクリーンアップする (5 年より古いすべてのレコードを削除する) 権限を付与する必要があります。グループのマネージャー (`ORDER_MANAGER`) は、テーブルに対する完全な `DELETE` 権限を持っています。

`ORDER_MANAGER` ロールが保持する `DELETE` 権限を必要とせずに、`ORDER_ADMIN` ロールを有効にしてこのデータ クリーンアップを実行するにはどうすればよいですか?

- A. 適切な 「5 years」ビジネス ロジックを含む、呼び出し元の権限で実行されるストアド プロシージャを作成し、このプロシージャの `USAGE` を `ORDER_ADMIN` に付与します。 `ORDER_MANAGER` ロールはプロシージャを所有します。
- B. 呼び出し元と所有者の両方の権限を使用して実行できるストアド プロシージャを作成し (ユーザーは実行時に使用する権限を指定できます)、このプロシージャの `USAGE` を `ORDER_ADMIN` に付与します。 `ORDER_MANAGER` ロールはプロシージャを所有します。
- C. 適切な 「5 年」ビジネス ロジックを含む、所有者の権限で実行されるストアド プロシージャを作成し、このプロシージャの `USAGE` を `ORDER_ADMIN` に付与します。 `ORDER_MANAGER` ロールはプロシージャを所有します。
- D. このシナリオは実際には Snowflake では不可能です。テーブルに対して `DELETE` を実行するユーザーには、使用しているロールに `DELETE` 権限が付与されている必要があります。

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

これは正しい答えです。これにより、`ORDER_ADMIN` ロールは、`ORDERS` テーブルに対する `DELETE` 権限を必要とせずにデータ クリーンアップを実行できるようになります。ストアド プロシージャは、Snowflake で SQL ステートメントまたはストアド プロシージャをスケジュールして実行できる機能です。ストアド プロシージャは、呼び出し元の権限または所有者の権限のいずれかで実行できます。呼び出し元の権限のストアド プロシージャは、ストアド プロシージャを呼び出したロールの権限で実行されますが、所有者の権限のストアド プロシージャは、ストアド プロシージャを作成したロールの権限で実行されます。所有者の権限で実行されるストアド プロシージャを作成すると、`ORDER_MANAGER` ロールは、`ORDER_ADMIN` ロールに `ORDERS` テーブルに対するより一般的な権限を付与しなくても、古いデータを削除する特定のタスクを `ORDER_ADMIN` ロールに委任できます。ストアド プロシージャには、5 年より古いレコードのみを削除する適切なビジネス ロジックが含まれている必要があります。 `ORDER_MANAGER` ロールはストアド プロシージャに対する `USAGE` 権限を `ORDER_ADMIN` ロールに付与する必要があります。

まず、その後、ORDER\_ADMIN ロールはストアド プロシージャを実行してデータ クリーンアップ 12 を実行できます。

参考文献:

Snowflake ドキュメント: ストアド プロシージャ

Snowflake ドキュメント: 呼び出し元の権利と所有者の権利ストアド プロシージャについて

### 最新問題: 20

企業の毎日の Snowflake ワークロードは、次の時間にトリガーされる膨大な数の同時クエリで構成されます。

午後9時と午後11時。個人レベルでは、これらのクエリは短い時間内に完了する小さなステートメントです。

このワークロードのパフォーマンスを向上させるために、会社のアーキテクトはどのような構成を実装できますか?

(2つお選びください。)

- A. ワークロード期間中、マルチクラスター仮想ウェアハウスを最大化モードで有効にします。
- B. MAX\_CONCURRENCY\_LEVEL を仮想ウェアハウス レベルのデフォルト値 8 よりも高い値に設定します。
- C. 仮想ウェアハウスのサイズを X-Large に増やします。
- D. このワークロードを通じて処理されるデータの量を削減します。
- E. 接続タイムアウトをデフォルトよりも高い値に設定します。

**Answer: A,B (メッセージを残す)**

これら 2 つの構成オプションにより、小規模で高速な膨大な数の同時クエリで構成されるワークロードのパフォーマンスを向上させることができます。

マルチクラスター仮想ウェアハウスを最大化モードで有効にすると、キュー内のクエリ数に関係なく、現在のクラスターが完全にロードされるとすぐにクラスターを追加して、ウェアハウスを自動的にスケールアウトできます。これにより、キューを最小限に抑えるか防止することで、ワークロードの同時実行性とスループットを向上させることができます。最大化モードは、高いパフォーマンスと低遅延を必要とするワークロードに適しており、クレジット消費の影響を受けにくい。

仮想ウェアハウス レベルで MAX\_CONCURRENCY\_LEVEL をデフォルト値の 8 よりも高い値に設定すると、ウェアハウスは各クラスターでより多くのクエリを同時に実行できるようになります。これにより、特に多くの処理能力を必要としない小規模で高速なクエリの場合に、ウェアハウス リソースの使用率と効率が向上します。MAX\_CONCURRENCY\_LEVEL パラメータは、ウェアハウスの作成または変更時に設定でき、いつでも変更できます。

参考文献:

Snowflake ドキュメント: マルチクラスター ウェアハウスのスケーリング ポリシー

スノーフレークのドキュメント: MAX\_CONCURRENCY\_LEVEL

### 最新問題: 21

ヘルスケア企業は、個人健康情報 (PHI) を含む可能性のある Snowflake アカウントを導入しています。

企業は、関連するすべてのプライバシー基準を確実に遵守する必要があります。

データ保護とコンプライアンスの要件を満たすベスト プラクティスの推奨事項はどれですか？ 3 つお選びください。)

- A. 少なくとも、Snowflake の Business Critical エディションを使用します。
- B. 動的データ マスキング ポリシーを作成し、PHI を含む列に適用します。
- C. 内部トークン化機能を使用して機密データを難読化します。
- D. 外部トークン化機能を使用して、機密データを難読化します。
- E. SQL クエリを書き換えて、current\_role() に基づく PHI データの投影を排除します。
- F. パートナー組織とのデータ共有を避けます。

**Answer: A,B,D (メッセージを残す)**

PHI データを扱う医療会社は、HIPAA、HITRUST、GDPR などの関連プライバシー標準への準拠を保証する必要があります。Snowflake は、顧客がデータ保護とコンプライアンスの要件を満たすのに役立ついくつかの機能とベスト プラクティスを提供します<sup>1</sup>。

推奨されるベスト プラクティスの 1 つは、少なくとも Snowflake の Business Critical エディションを使用することです。このエディションは、顧客管理キーによるエンドツーエンド暗号化、強化されたオブジェクトレベルのセキュリティ、HIPAA および HITRUST 準拠など、最高レベルのデータ保護とセキュリティを提供します<sup>2</sup>。したがって、選択肢 A が正しいです。

もう 1 つのベスト プラクティス推奨事項は、動的データ マスキング ポリシーを作成し、PHI を含む列に適用することです。動的データ マスキングは、現在のユーザーのロールに基づいて機密データをマスキングまたは編集できる機能です。このようにすると、許可されたユーザーのみがマスクされていないデータを表示でき、他のユーザーには NULL、アスタリスク、ランダム文字などのマスクされた値が表示されます<sup>3</sup>。したがって、選択肢 B が正しいです。

3 番目のベスト プラクティスの推奨事項は、外部トークン化機能を使用して機密データを難読化することです。外部トークン化は、機密データを、Protegrity などの外部サービスによって生成および保存されたトークンに置き換えることを可能にする機能です。この方法では、元のデータが Snowflake によって保存または処理されることはなく、許可されたユーザーのみが外部サービスを介してトークン化されたデータにアクセスできます<sup>4</sup>。したがって、選択肢 D が正しいです。

内部トークン化機能は Snowflake では使用できないため、オプション C は不正解です。Snowflake はネイティブのトークン化機能を提供せず、外部トークン化サービスとの統合のみをサポートします<sup>4</sup>。

オプション E は不正解です。current\_role() に基づいて PHI データの投影を排除するために SQL クエリを書き直すことはベスト プラクティスではありません。このアプローチはエラーが発生しやすく、非効率的であり、維持するのが困難です。より良い代替案は、クエリを変更せずにユーザーのロールに基づいてデータを自動的にマスクできる動的データ マスキング ポリシーを使用することです<sup>3</sup>。

オプション F は不正解です。パートナー組織とのデータ共有を避けることはベスト プラクティスではありません。

Snowflake を使用すると、事業部門、顧客、パートナーなどの内部および外部の消費者との安全で管理されたデータ共有が可能になります。データ共有にはデータのコピーや移動は含まれず、共有オブジェクトへのアクセス権限が付与されるだけです。データ共有では、動的データ マスキングおよび外部トークン化機能を利用して機密データを保護することもできます<sup>5</sup>。

参考資料: : Snowflake のセキュリティおよびコンプライアンス レポート : Snowflake のエディション : 動的データ マスキング : 外部トークン化 : 安全なデータ共有

#### 最新問題: 22

アーキテクトは次の SQL クエリを実行します。

```
SELECT
  METADATA$FILENAME,
  METADATA$FILE_ROW_NUMBER
FROM @FILEROWS/Food_Reviews.csv
  (file_format=CSV_N)
```

このクエリはどのように解釈できるでしょうか？

- A. FILEROWS はステージです。FILE\_ROW\_NUMBER はファイル内の行番号です。
- B. FILEROWS はテーブルです。FILE\_ROW\_NUMBER はテーブル内の行番号です。
- C. FILEROWS はファイルです。FILE\_ROW\_NUMBER はファイル形式の場所です。
- D. FILERONS はファイル形式の場所です。FILE\_ROW\_NUMBER はステージです。

**Answer: A (メッセージを残す)**

ステージは、データのロードおよびアンロード用のファイルを保存できる Snowflake 内の名前付きの場所です。ステージは、ファイルが保存されている場所に応じて、内部または外部になります。

質問のクエリでは、LIST 関数を使用して、FILEROWS という名前のステージ内のファイルを一覧表示します。この関数は、ステージ内のファイルの行番号である FILE\_ROW\_NUMBER を含む、さまざまな列を含むテーブルを返します。

したがって、クエリは、FILEROWS という名前のステージ内のファイルをリストし、ステージ内の各ファイルの行番号を示すものとして解釈できます。

参考文献:

: ステージ

: リスト関数

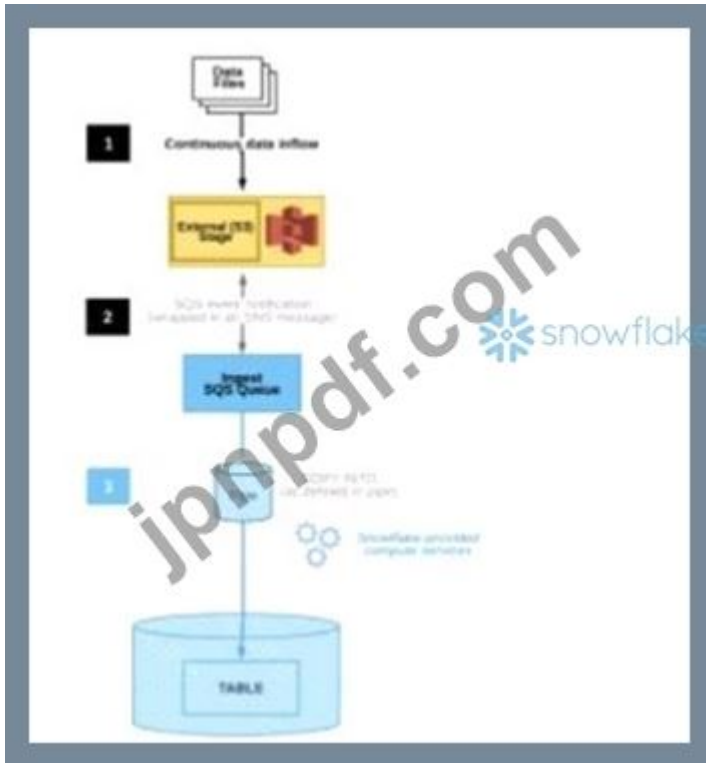
#### 最新問題: 23

この図は、Amazon Simple Notice Service (SNS) を使用した Snowpipe 自動取り込みのプロセスフローを次の手順で示しています。

ステップ 1: データ ファイルがステージにロードされます。

ステップ 2: SNS によって公開された Amazon S3 イベント通知は、Amazon Simple Queue Service (SQS) 経由で、ファイルをロードする準備ができていることを Snowpipe に通知します。Snowpipe はファイルをキューにコピーします。

ステップ 3: Snowflake が提供する仮想ウェアハウスは、指定されたパイプで定義されたパラメータに基づいて、キューに入れられたファイルからターゲット テーブルにデータをロードします。



AWS 管理者がステップ 2 で誤って SNS トピックへの SQS サブスクリプションを削除した場合、Amazon S3 からイベントメッセージを受信するためにトピックを参照するパイプはどうなりますか？

- A. Snowflake が同じ SNS トピックへのサブスクリプションを自動的に復元し、パイプ定義で同じ SNS トピック名を指定してパイプを再作成するため、パイプは引き続きメッセージを受信します。
- B. パイプはメッセージを受信できなくなり、ユーザーは SNS トピックのサブスクリプションが削除されてから 24 時間待つ必要があります。パイプは 24 時間後に既存の SNS トピックへの同じサブスクリプションを再利用するため、パイプを再作成する必要はありません。
- C. Snowflake が新しい SNS トピックを作成してサブスクリプションを自動的に復元するため、パイプは引き続きメッセージを受信します。その後、Snowflake はパイプ定義で新しい SNS トピック名を指定してパイプを再作成します。
- D. パイプはメッセージを受信できなくなります。システムをすぐに復元するには、ユーザーは別の名前で新しい SNS トピックを手動で作成し、パイプ定義で新しい SNS トピック名を指定してパイプを再作成する必要があります。

**Answer:** [\(解答を表示する\)](#)

AWS 管理者がステップ 2 で SNS トピックへの SQS サブスクリプションを誤って削除した場合、Amazon S3 からイベントメッセージを受信するためにトピックを参照するパイプはメッセージを受信できなくなります。

これは、SQS サブスクリプションが SNS トピックと Snowpipe 通知チャンネルの間のリンクであるためです。

サブスクリプションがないと、SNS トピックは Snowpipe キューに通知を送信できず、パイプは新しいファイルを読み込むようにトリガーされません。システムをすぐに復元するには、ユーザーは別の名前で新しい SNS トピックを手動で作成し、パイプ定義で新しい SNS トピック名を指定してパイプを再作成する必要があります。これにより、パイプの新しい通知チャンネルと新しい SQS サブスクリプションが作成されます。あるいは、ユーザーは既存の SNS トピックへの SQS サブスクリプションを再作成し、パイプ定義で同じ SNS トピック名を使用するようにパイプを変更することもできます。これにより、通知チャンネルとパイプの機能も復元されます。参考文献:

Amazon S3 の Snowpipe の自動化

Amazon SNS の Snowpipe エラー通知の有効化

HowTo: AWS S3 ステージを使用した Snowpipe 自動取り込みの設定手順

#### 最新問題: 24

Snowflake Architect は、強力な法的分離ルールとマルチテナントが要件となる組織向けに、アプリケーションとテナント戦略を設計しています。

ロールベースのアクセス ポリシー (RBAC) がテナントを分離するための実行可能なオプションである場合、これらの要件を満たすのはどのアプローチですか？

- A. Snowflake 組織内の各テナントのアカウントを作成します。
- B. 行レベルのセキュリティがテナントの分離に有効な場合は、テナント戦略ごとにオブジェクトを作成します。
- C. テナントを分離するために行レベルのセキュリティが実行できない場合は、マルチテナントテーブル戦略を作成します。
- D. テナントを分離するために行レベルのセキュリティが実行できない場合は、テナント戦略ごとにオブジェクトを作成します。

**Answer: A** ([メッセージを残す](#))

#### 最新問題: 25

会社 A は、Snowflake のデータを会社 B と共有したいと考えています。

会社 B は会社 A と同じクラウド プラットフォーム上にありません。

この 2 社間でデータを共有するには何が必要ですか？

- A. ターゲット クラウド プロバイダーのクラウド ストレージの場所に共有データを書き込むパイプラインを作成します。
- B. ビューはクラウド プラットフォーム間で共有できないため、すべてのビューが永続化されていることを確認してください。
- C. コンシューマが存在するリージョンおよびクラウド プラットフォームへのデータ レプリケーションをセットアップします。
- D. 会社 A と会社 B は、単一のクラウド プラットフォームを使用することに同意する必要があります。データ共有は、両社が同じクラウド プロバイダーを共有している場合にのみ可能です。

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

SnowPro Advanced: Architect のドキュメントと学習リソースによると、同じクラウド プラットフォーム上にない 2 つの企業間でデータ共有を可能にする要件は、消費者が存在するリージョンとクラウド プラットフォームへのデータ レプリケーションを設定することです。データ レプリケーションは、異なるリージョンやクラウド プラットフォームのアカウント間でデータベースをコピーできるようにする Snowflake の機能です。データ レプリケーションを使用すると、データ プロバイダーは、消費者のアカウントにレプリカ データベースを作成することで、さまざまな地域やクラウド プラットフォームにわたってデータ コンシューマーとデータを安全に共有できます。レプリカ データベースは読み取り専用で、プロバイダーのアカウント内のプライマリ データベースと自動的に同期されます。データ レプリケーションは、遅延、コンプライアンス、またはセキュリティ上の理由により、データ共有が不可能または望ましいシナリオに役立ちます<sup>1</sup>。他のオプションは、同じクラウド プラットフォーム上にない 2 つの企業間でのデータ共有を許可する必要がないか、実現可能ではないため、不正確です。オプション A は不正解です。ターゲットクラウド プロバイダーのクラウド ストレージの場所に共有データを書き込むパイプラインを作成することは、安全または効率的なデータ共有方法ではありません。クラウド ストレージから消費者のアカウントにデータを読み込むには追加の手順が必要となり、Snowflake のデータ共有機能の利点を活用できなくなります。選択肢 B は不正解です。すべてのビューが確実に永続化されることは、クラウド プラットフォーム間でのデータ共有には関係ありません。ビューは、同じデータベース内のオブジェクトを参照している限り、クラウド プラットフォーム間で共有できます。ビューの永続化はビューのクエリのパフォーマンスを向上させるためのオプションですが、データ共有には必須ではありません<sup>2</sup>。選択肢 D は不正解です。会社 A と会社 B は単一のクラウド プラットフォームを使用することに同意する必要はありません。データの複製や、リストや自動フルフィルメントなどの他の方法を使用して、さまざまなクラウド プラットフォーム間でデータを共有できます<sup>3</sup>。参考資料: 複数のアカウント間でのデータベースのレプリケーション | Snowflake ドキュメント、永続的なビュー | Snowflake ドキュメント、リージョンおよびクラウド プラットフォーム間でのデータ共有 | スノーフレイクのドキュメント

#### 最新問題: 26

COPY INTO を使用してステージからデータをロードする場合、ON\_ERROR 句にはどのようなオプションを指定できますか?

- A. 続行
- B. SKIP\_FILE
- C. ABORT\_STATEMENT
- D. 失敗

**Answer: A,B,C (メッセージを残す)**

ON\_ERROR 句は、ファイル内でエラーが発生したときのコマンドの動作を指定する COPY INTO コマンドのオプションのパラメータです。ON\_ERROR 句には、次のいずれかの値を指定できます<sup>1</sup>。

CONTINUE: この値は、ファイルのロードを続行し、データ ファイルごとに最大 1 つのエラーが発生した場合にエラー メッセージを返すようにコマンドに指示します。ROWS\_PARSED 列値と

ROWS\_LOADED 列値の差は、検出されたエラーを含む行数を表します。データ ファイル内のすべてのエラーを表示するには、VALIDATION\_MODE パラメータを使用するか、VALIDATE 関数をクエリします<sup>1</sup>。

SKIP\_FILE: この値は、ファイル内のいずれかのレコードでデータ エラーが発生した場合にファイルをスキップするようにコマンドに指示します。コマンドはステージ内の次のファイルに移動し、読み込みを続けます。スキップされたファイルはロードされず、file1 に対するエラーメッセージは返されません。

ABORT\_STATEMENT: この値は、最初のエラーが発生したときにデータのロードを停止するようにコマンドに指示します。このコマンドはファイルのエラー メッセージを返し、ロード操作を中止します。これは ON\_ERROR 句 1 のデフォルト値です。

したがって、選択肢 A、B、および C は正しいです。

参照: : COPY INTO <テーブル>

### 最新問題: 27

次の DDL コマンドは、ストリームに基づいてタスクを作成するために使用されました。

```
CREATE TASK ts_insert_new_customers
  WAREHOUSE = MY_WH
  Schedule = '5 minute'
WHEN
  System$STREAM_HAS_DATA('MYSTREAM')
AS
  INSERT INTO new_customers(id, name) SELECT id, name
  FROM mystream WHERE METADATA$ACTION = 'INSERT';
```

MY\_WH が auto\_suspend - 60 に設定され、このタスク専用で使用されると仮定すると、どのステートメントが真ですか？

- A. ストリームをチェックするために、ウェアハウス MY\_WH が 5 分ごとにアクティブになります。
- B. ウェアハウス MY\_WH は、ストリームに結果がある場合にのみアクティブになります。
- C. ウェアハウス MY\_WH は一時停止されません。
- D. ウェアハウス MY\_WH は、ストリームのサイズに合わせて自動的にサイズ変更されます。

**Answer: B (メッセージを残す)**

ウェアハウス MY\_WH は、ストリームに結果がある場合にのみアクティブになります。これは、タスクがストリームに基づいて作成されるためです。つまり、タスクはストリームに新しいデータがある場合にのみ実行されます。さらに、ウェアハウスは auto\_suspend - 60 に設定されます。これは、60 秒間の非アクティブ状態が続くとウェアハウスが自動的に一時停止することを意味します。したがって、ウェアハウスはストリームに結果がある場合にのみアクティブになります。参考文献:

[タスクの作成 | スノーflakeのドキュメント]

[ストリームとタスクの使用 | スノーflakeのドキュメント]

## [倉庫を作成 | スノーフレークのドキュメント]

### 最新問題: 28

データ プラットフォーム チームは、2 つのマルチクラスター仮想ウェアハウスを作成し、1 つは AUTO\_SUSPEND 値を NULL に設定します。もう一方は 0 です。これらの仮想ウェアハウスの実行動作はどのようなものになるのでしょうか？

- A. 0 または NULL 値を設定すると、ウェアハウスは一時停止されないことを意味します。
- B. 0 または NULL 値を設定すると、ウェアハウスが直ちに一時停止されることを意味します。
- C. 0 または NULL 値を設定すると、デフォルトの 600 秒後にウェアハウスが一時停止されません。
- D. 0 値を設定すると、ウェアハウスが直ちに一時停止されることを意味し、NULL はウェアハウスが決して一時停止されないことを意味します。

**Answer: D** ([メッセージを残す](#))

AUTO\_SUSPEND パラメータは、ウェアハウスが自動的に一時停止されるまでの非アクティブ時間を秒単位で制御します。このパラメータが NULL に設定されている場合、ウェアハウスは一時停止しません。このパラメータが 0 に設定されている場合、ウェアハウスはクエリの実行直後に一時停止します。したがって、2 つの仮想ウェアハウスの実行動作は、AUTO\_SUSPEND 値に応じて異なります。NULL 値のウェアハウスは、手動で一時停止されるか、リソース監視の制限に達するまで実行され続けます。値が 0 のウェアハウスは、クエリが終了するとすぐに一時停止され、コンピューティング リソースが解放されます。参考文献:

倉庫を変更する

パラメーター

### 最新問題: 29

Snowflake Architect が Kafka 用の Snowflake コネクタを実装する際に考慮する必要があることは何ですか？

- A. すべての Kafka メッセージは JSON または Avro 形式です。
- B. Kafka トピックのデフォルトの保存期間は 14 日です。
- C. Kafka コネクタは、キー ペア認証、OAUTH をサポートします。および基本認証 (ユーザー名とパスワードなど)。
- D. Kafka コネクタは、トピックごとにデータを取り込むために 1 つのテーブルと 1 つのパイプを作成します。コネクタがテーブルまたはパイプを作成できない場合は、例外が発生します。

**Answer: (解答を表示する)**

Kafka 用 Snowflake コネクタは、1 つ以上の Apache Kafka トピックからデータを読み取り、そのデータを Snowflake テーブルにロードする Kafka Connect シンク コネクタです。コネクタは、キー ペア認証、OAUTH、基本認証 (ユーザー名とパスワードなど) など、Snowflake に接続するためのさまざまな認証方法をサポートしています。コネクタは、HTTPS や SSL1 などのさまざまな暗号化方式もサポートしています。コネクタは、CSV、XML、Parquet2 などの他の形式を処理できるため、すべての Kafka メッセージが JSON または Avro 形式である必要はありません。Kafka ト

ピックのデフォルトの保持時間は、コネクタには関係ありません。コネクタは、トピックで使用可能なメッセージを消費するだけで、Kafka には保存されません。コネクタは、デフォルトで各トピックのデータを取り込むために 1 つのテーブルと 1 つのパイプを作成しますが、この動作は、snowflake.topic2table.map 構成プロパティ 3 を使用してカスタマイズできます。コネクタがテーブルまたはパイプを作成できない場合、コネクタはエラーをログに記録し、成功するかコネクタが停止するまで操作を再試行します<sup>4</sup>。参考文献:

Kafka コネクタのインストールと構成

Kafka コネクタの概要

Kafka コネクタの管理

Kafka コネクタのトラブルシューティング

### 最新問題: 30

大手製造会社のデータ エンジニアリング チームは、次のようなさまざまなユースケースとデータ消費者の要件をサポートするために、多くのソースから得られるデータをエンジニアリングする必要があります。

- 1) レポートと視覚化を必要とする財務およびベンダー管理チームのメンバー
  - 2) ML モデル開発のために生データへのアクセスを必要とするデータ サイエンス チームのメンバー
  - 3) データ収益化のために設計および保護されたデータを必要とする営業チームのメンバー どのような Snowflake データ モデリング アプローチがこれらの要件を満たしますか? (2つお選びください。)
- A.** 会社のデータ レイク内のデータを統合し、外部テーブルを使用します。
- B.** データ パイプラインに入る生データを取得して保持するための生データベースを作成します。
- C.** データを使用パターンに合わせて調整する、プロファイル固有のデータベースのセットを作成します。
- D.** すべての消費者の要件をサポートするために、単一のデータベースに単一のスター スキーマを作成します。
- E.** 唯一のデータ パイプライン エンドポイントとして Data Vault を作成し、すべてのコンシューマーが Vault に直接アクセスできるようにします。

**Answer: B,C (メッセージを残す)**

これら 2 つのアプローチは、データ レイク シナリオでのデータ モデリングのために Snowflake によって推奨されています。生のデータベースを作成すると、データ エンジニアリング チームは、変換やクレンジングを行わずに、元のデータの品質と形式を維持しながら、さまざまなソースからデータを取り込むことができます。これにより、データ サイエンス チームは ML モデル開発用の生データにアクセスできるようになります。プロファイル固有のデータベースのセットを作成すると、データ エンジニアリング チームは、さまざまなユースケースやデータ消費者の要件に応じてさまざまな変換や最適化を適用できるようになります。たとえば、財務およびベンダー管理チームはレポート作成と視覚化をサポートする次元データベースにアクセスでき、営業チームはデータの収益化をサポートする安全なデータベースにアクセスできます。

参考文献:

**最新問題: 31**

ある会社は、AWS us-east-1 リージョンに ACCOUNTA という名前の Snowflake アカウントを持っています。同社はマーケティング データを MARKET\_DB という名前の Snowflake データベースに保存しています。会社のビジネス パートナーの 1 つは、Azure East US 2 リージョンに PARTNERB という名前のアカウントを持っています。マーケティング目的で、同社はデータベース MARKET\_DB をパートナー アカウントと共有することに同意しました。

アカウント PARTNERB が MARKET\_DB データベースのデータを使用するには、次の手順のうちどれを実行する必要がありますか？

**A.** Azure East US 2 リージョンに新しいアカウント (AZABC123 という名前) を作成します。アカウント ACCOUNTA からデータベース MARKET\_DB の共有を作成し、この共有から AWS us-east-1 リージョンでローカルに新しいデータベースを作成し、この新しいデータベースを AZABC123 アカウントにレプリケートします。次に、PARTNERB アカウントへのデータ共有を設定します。

**B.** アカウント ACCOUNTA からデータベース MARKET\_DB の共有を作成し、この共有から AWS us-east-1 リージョンのローカルに新しいデータベースを作成します。次に、このデータベースをプロバイダーにして、PARTNERB アカウントと共有します。

**C.** Azure East US 2 リージョンに新しいアカウント (AZABC123 という名前) を作成します。アカウント ACCOUNTA からデータベース MARKET\_DB を AZABC123 にレプリケートし、このアカウントから PARTNERB アカウントへのデータ共有を設定します。

**D.** データベース MARKET\_DB の共有を作成し、この共有から AWS us-east-1 リージョンのローカルに新しいデータベースを作成します。次に、このデータベースをパートナーのアカウント PARTNERB にレプリケートします。

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

Snowflake は、アカウント レプリケーションと共有レプリケーション機能を使用して、リージョンとクラウド プラットフォーム間でのデータ共有をサポートします。アカウントのレプリケーションにより、ソース アカウントから同じ組織内の 1 つ以上のターゲット アカウントへのオブジェクトのレプリケーションが可能になります。共有レプリケーションにより、ソース アカウントから同じ組織内の 1 つ以上のターゲット アカウントへの共有のレプリケーションが可能になります<sup>1</sup>。

AWS us-east-1 リージョンの ACCOUNTA アカウントの MARKET\_DB データベースのデータを Azure East US 2 リージョンの PARTNERB アカウントと共有するには、次の手順を実行する必要があります。

Azure East US 2 リージョンに新しいアカウント (AZABC123 という名前) を作成します。このアカウントは、ソース アカウントとターゲット アカウントの間のブリッジとして機能します。新しいアカウントは、組織を使用して ACCOUNTA アカウントにリンクする必要があります<sup>2</sup>。

ACCOUNTA アカウントから、アカウント レプリケーション機能を使用して MARKET\_DB データベースを AZABC123 アカウントにレプリケートします。これにより、ACCOUNTA アカウントのプライマリ データベースのレプリカであるセカンダリ データベースが AZABC123 アカウントに作成されます3。

AZABC123 アカウントから、共有レプリケーション機能を使用して PARTNERB アカウントへのデータ共有を設定します。これにより、AZABC123 アカウントにセカンダリ データベースの共有が作成され、PARTNERB アカウントへのアクセスが許可されます。PARTNERB アカウントは、共有からデータベースを作成し、データをクエリできるようになります4。

したがって、選択肢 C が正解です。

参考資料: : リージョンおよびクラウド プラットフォーム間での共有のレプリケーション: 組織とアカウントの操作: 複数のアカウント間でのデータベースのレプリケーション: 複数のアカウント間での共有のレプリケーション

有効な **ARA-R01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ARA-R01 試験問題集! GoShiken.com が最新の **ARA-R01** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ARA-R01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ARA-R01 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Snowflake/ARA-R01-mondaishu.html>  
(16330%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

#### 最新問題: 32

ある企業は、IoT デバイスから受信してクラウド プロバイダーに送信する小さな JSON ファイル (1 ~ 4 バイトの範囲) を大量に保存しています。任意の 1 時間に 100,000 のファイルがクラウド プロバイダーに追加されます。

このデータを Snowflake テーブルに取り込む最もコスト効率の高い方法は何ですか?

- A. 外部テーブル
- B. パイプ
- C. ストリーム
- D. 定期的なコピー コマンド

**Answer: B (メッセージを残す)**

パイプは、ステージ (内部または外部) 内のファイルからテーブルにデータを継続的にロードする Snowflake オブジェクトです。パイプは自動取り込みを使用するように構成できます。つまり、Snowflake はステージ内の新しいファイルまたは変更されたファイルを自動的に検出し、手動介入なしでそれらをテーブルにロードします1。

パイプは、実行される COPY コマンドの数と作成されるマイクロパーティションの数を最小限に抑えるため、多数の小さな JSON ファイルを Snowflake テーブルに取り込む最もコスト効率の高い方法です。パイプではファイル集約を使用できます。これは、テーブルにロードする前に、複数の小さなファイルを 1 つの大きなファイルに結合できることを意味します。これにより、データのロード時間とストレージコストが削減されます2。

外部テーブルは、Amazon S3、Google Cloud Storage、Microsoft Azure Blob Storage などの外部の場所に保存されているデータ ファイルを参照する Snowflake オブジェクトです。外部テーブルは Snowflake にデータを保存せず、クエリ用のデータのビューを提供するだけです。外部テーブルはファイル集約をサポートしておらず、外部データをクエリするために追加のネットワーク帯域幅とコンピューティング リソースを必要とするため、Snowflake テーブルにデータを取り込むためのコスト効率の高い方法ではありません<sup>3</sup>。

ストリームは、テーブルに加えられた変更 (挿入、更新、削除) の履歴を記録する Snowflake オブジェクトです。ストリームを使用すると、テーブルからの変更を消費し、別のテーブルまたはタスクに適用できます。ストリームは、データを Snowflake テーブルに取り込む方法ではなく、データがテーブルにロードされた後に処理する方法です<sup>4</sup>。

コピー コマンドは、ステージ内のファイルからテーブルにデータをロードする Snowflake コマンドです。コピー コマンドは手動で実行することも、タスクを使用してスケジューリングすることもできます。コピー コマンドは、ファイルの集約をサポートしていないため、多数の小さな JSON ファイルを Snowflake テーブルに取り込むためのコスト効率の高い方法ではありません。また、多数のマイクロパーティションが作成されてデータのストレージ コストが増加する可能性があるためです<sup>5</sup>。

参照: : パイプ : Snowpipe を使用したデータのロード : 外部テーブル : ストリーム : COPY INTO <テーブル>

### 最新問題: 33

アーキテクトは、過去 6 年間の四半期末の財務結果を保存したいと考えています。

アーキテクトはこれを達成するためにどの Snowflake 機能を使用できますか？

- A. 検索最適化サービス
- B. マテリアライズド ビュー
- C. タイムトラベル
- D. ゼロコピーのクローン作成
- E. 安全なビュー

**Answer:** ([解答を表示する](#))

ゼロコピー クローン作成は、過去 6 年間の四半期末の財務結果を保存するために使用できる Snowflake の機能です。ゼロコピー クローン作成では、データやメタデータを複製することなく、データベース、スキーマ、テーブル、またはビューのコピーを作成できます。クローンは元のオブジェクトと同じデータ ファイルを共有しますが、クローンまたはオリジナルに加えられた変更を個別に追跡します。ゼロコピー クローン作成を使用すると、四半期末の財務結果など、さまざまな時点でのデータのスナップショットを作成し、将来の分析や比較のために保存できます。ゼロコピー クローン作成は高速かつ効率的で、データが変更されない限り追加のストレージスペースを消費しません<sup>1</sup>。

参考文献:

ゼロコピークローン作成 | スノーフレークのドキュメント

### 最新問題: 34

ある企業は高可用性と災害復旧計画を設計しており、重要なアプリケーション プロセスの冗長性を最大化し、目標復旧時間を最小限に抑える必要があります。ソリューションが利用可能な中で最良である限り、コストは問題になりません。これまでの計画は次のステップで構成されています。

1. 2 つの異なるクラウドプロバイダーに Snowflake アカウントを展開します。
2. 地理的に離れたクラウドプロバイダー地域の選択。
3. Snowflake デプロイメントでは、両方のクラウド プロバイダー アカウント間でデータベースとアカウント データがレプリケートされます。
4. Snowflakeクライアントリダイレクトの実装。

サービス イベントが発生した場合に、最高の稼働時間を実現し、アプリケーションの中断を最小限に抑える、最もコスト効率の高い方法は何ですか？

- A. <organization\_name>-<connection\_name> URL を使用してアプリケーションに接続しません。Business Critical Snowflake エディションを使用します。
- B. <organization\_name>-<connection\_name> URL を使用してアプリケーションに接続しません。Virtual Private Snowflake (VPS) エディションを使用します。
- C. <organization\_name>-<accountLocator> URL を使用してアプリケーションに接続しません。Enterprise Snowflake エディションを使用します。
- D. <organization\_name>-<accountLocator> URL を使用してアプリケーションに接続しません。Business Critical Snowflake エディションを使用します。

**Answer: D (メッセージを残す)**

サービス イベント発生時の稼働時間を最大限に高め、アプリケーションの中断を最小限に抑えるための最良のオプションは、Business Critical Snowflake エディションを使用し、<組織名>-<アカウントロケータ> URL。Business Critical Snowflake エディションは、Snowflake アカウントに最高レベルのセキュリティ、パフォーマンス、可用性を提供します。これには、顧客管理の暗号化キー、HIPAA 準拠、4 時間の RPO および RTO SLA などの機能が含まれます。また、リージョンおよびクラウド プラットフォーム間でのアカウントのレプリケーションとフェイルオーバーもサポートしているため、ビジネスの継続性と災害復旧が可能になります。<organization\_name>-<accountLocator> URL を使用すると、アプリケーションは Snowflake クライアント リダイレクト機能を利用でき、フェイルオーバーの場合にクライアント接続をセカンダリ アカウントに自動的にリダイレクトします。このようにして、アプリケーションは手動による介入や構成の変更を行わずに、バックアップ アカウントにシームレスに切り替えることができます。他のオプションは、アカウントのレプリケーションとフェイルオーバーをサポートしない下位エディションの Snowflake を使用するか、クライアントのリダイレクトとフェイルオーバーの場合には、接続文字列を手動で更新する必要があります。参考文献:

[スノーフレイク エディション] 1

[レプリケーションとフェイルオーバー/フェイルバック] 2

[クライアントリダイレクト] 3

[Snowflake アカウント識別子] 4

## 最新問題: 35

Snowflake Architect は、複数アカウントの設計戦略を設計しています。

この戦略はどのシナリオで最も費用対効果が高くなりますか? (2 つ選択してください)。

- A. 会社は、AWS にある運用データベースのクローンを Azure にある開発データベースに作成したいと考えています。
- B. 会社は 2 つのデータベース間でデータを共有する必要があります。一方のデータベースは Payment Card Industry Data Security Standard (PCI DSS) 準拠をサポートする必要がありますが、もう一方のデータベースはサポートしていません。
- C. 会社は、開発、テスト、実稼働環境向けに、さまざまなロールベースのアクセス制御機能をサポートする必要があります。
- D. 会社のセキュリティ ポリシーでは、開発環境、テスト環境、運用環境で異なる Active Directory インスタンスを使用することが義務付けられています。
- E. 企業は、特定のユーザーに対して特定のネットワーク ポリシーを使用して、特定の IP アドレスを許可およびブロックする必要があります。

**Answer: B,C (メッセージを残す)**

複数アカウントの設計戦略は、クラウドプロバイダー、地域、環境、ビジネスユニットなどのさまざまな基準に基づいて、Snowflake アカウントを論理グループに編成する方法です。複数アカウントの設計戦略は、コストの最適化、パフォーマンスの分離、セキュリティ コンプライアンス、データ共有などのさまざまな目標の達成に役立ちます<sup>1</sup>。この質問では、複数アカウントの設計戦略で最も費用対効果が高いシナリオは次のとおりです。

会社は、AWS にある運用データベースのクローンを、Azure にある開発データベースに作成したいと考えています。このシナリオでは、複数アカウントの設計戦略の恩恵を受けることができます。これにより、企業は Snowflake のクロスクラウド レプリケーション機能を活用できるようになり、異なるクラウド プラットフォームやリージョン間でデータベースをレプリケートできるようになります。この機能は、データ転送コストと遅延を削減し、高可用性と災害復旧を実現するのに役立ちます<sup>2</sup>。

会社のセキュリティ ポリシーでは、開発環境、テスト環境、運用環境で異なる Active Directory インスタンスを使用することが義務付けられています。このシナリオでは、企業が環境ごとに異なるフェデレーション認証方法を使用し、それらを異なる Active Directory インスタンスと統合できるため、マルチアカウント設計戦略の利点が得られます。これにより、Snowflake アカウントへのアクセスのセキュリティとガバナンスが向上し、ユーザー管理とプロビジョニングが簡素化されます<sup>3</sup>。

他のシナリオでは、次の理由により、複数アカウントの設計戦略を使用しても費用対効果が最も高くありません。

同社は 2 つのデータベース間でデータを共有する必要があります。一方のデータベースは PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) 準拠をサポートする必要がありますが、もう一方のデータベースはサポートしていません。このシナリオは、安全なビューと安全な UDF を使用して機密データをマスクまたはフィルターし、データにアクセスするユーザーに適切なロー

ルと権限を適用することで、単一の Snowflake アカウント内で処理できます。これにより、複数のアカウントを管理する追加コストを発生させることなく、PCI DSS 準拠を達成できます<sup>4</sup>。

企業は、開発、テスト、実稼働環境向けに、さまざまなロールベースのアクセス制御機能をサポートする必要があります。このシナリオは、Snowflake のネイティブのロールベースのアクセス制御 (RBAC) 機能 (ロール、付与、特権など) を使用して、環境ごとに異なるアクセス レベルと権限を定義することにより、単一の Snowflake アカウント内で処理することもできます。これは、データとオブジェクトのセキュリティと整合性を確保し、ユーザー間の義務と責任を分離するのに役立ちます。

企業は、特定のユーザーに対して特定のネットワーク ポリシーを使用して、特定の IP アドレスを許可およびブロックする必要があります。

このシナリオは、Snowflake のネットワーク ポリシー機能を使用して、単一の Snowflake アカウント内で処理することもできます。これにより、ネットワーク ポリシーを作成および適用して、Snowflake アカウントにアクセスできる IP アドレスを制限できます。これは、不正アクセスを防止し、悪意のある攻撃からデータを保護するのに役立ちます。

参考文献:

Snowflake トポロジの設計

クロスクラウドレプリケーション

Federated Authentication と SSO の構成

セキュア ビューとセキュア UDF を使用して PCI DSS に準拠する

[Snowflake のアクセス制御について]

[ネットワークポリシー]

### 最新問題: 36

Snowflake Connector for Kafka を使用する場合、メッセージではどのようなデータ形式がサポートされますか? (2つお選びください。)

- A. CSV
- B. XML
- C. アプロ
- D. JSON
- E. 寄木細工

**Answer: C,D (メッセージを残す)**

Snowflake Connector for Kafka を使用するときメッセージでサポートされるデータ形式は、Avro と JSON です。これらは、コネクタが解析して Snowflake テーブル行に変換できる 2 つの形式です。コネクタは、スキーマレス JSON とスキーマ化された JSON の両方に加え、スキーマレジストリの有無にかかわらず Avro をサポートします<sup>1</sup>。他のオプションは、メッセージでサポートされているデータ形式ではないため、正しくありません。CSV、XML、および Parquet は、コネクタが解析して Snowflake テーブル行に変換できる形式ではありません。メッセージがこれらの形式の場合、コネクタはメッセージを VARIANT データ型としてロードし、生の文字列として table2 に保存します。参考文献: Kafka 用 Snowflake コネクタ | Snowflake ドキュメント、Kafka 用 Snowflake コネクタを使用した Protobuf データのロード | スノーフレイクのドキュメント

### 最新問題: 37

Snowflake でのトランザクションの使用の特徴は何ですか? (2 つ選択してください)。

- A. 明示的なトランザクションには、DDL、DML、およびクエリ ステートメントを含めることができます。
- B. 自動コミット設定はストアード プロシージャ内で変更できます。
- C. トランザクションは begin work ステートメントを実行することで明示的に開始でき、commit work ステートメントを実行することで明示的に終了できます。
- D. トランザクションは begintransaction ステートメントを実行することで明示的に開始でき、endtransaction ステートメントを実行することで明示的に終了できます。
- E. 明示的なトランザクションには DML ステートメントとクエリ ステートメントのみを含める必要があります。すべての DDL ステートメントは、アクティブなトランザクションを暗黙的にコミットします。

**Answer: A,D (メッセージを残す)**

Snowflake では、トランザクションはアトミック単位として処理される一連の SQL ステートメントです。トランザクション内のすべてのステートメントは、一緒に適用される (つまり、コミットされる) か、取り消される (つまり、ロールバック) かのいずれかになります。

Snowflake トランザクションは ACID プロパティを保証します。トランザクションには読み取りと書き込みの両方を含めることができます<sup>1</sup>。

明示的トランザクションは、BEGIN TRANSACTION、COMMIT、および ROLLBACK ステートメントを使用して明示的に開始および終了されるトランザクションです。Snowflake は、同義語の BEGIN WORK と BEGIN TRANSACTION、COMMIT WORK と ROLLBACK WORK をサポートしています。明示的なトランザクションには、DDL、DML、およびクエリ ステートメントを含めることができます。ただし、DDL ステートメントはアクティブなトランザクションを暗黙的にコミットするため、明示的なトランザクションには DML ステートメントとクエリ ステートメントのみを含める必要があります。これは、トランザクション内の前のステートメントによって行われた変更はすべて適用され、トランザクション内の後続のステートメントによって行われた変更は同じトランザクションの一部ではないことを意味します<sup>1</sup>。

他のオプションは次の理由により正しくありません。

B)。自動コミット設定はストアード プロシージャ内で変更できますが、これは Snowflake でのトランザクションの使用には影響しません。自動コミット設定は、各ステートメントが独自の暗黙的なトランザクションで実行されるかどうかを決定します。自動コミットが有効な場合、各ステートメントは自動的にコミットされます。自動コミットが無効になっている場合、明示的な COMMIT または ROLLBACK が発行されるまで、各ステートメントは暗黙的なトランザクションで実行されます。ストアード プロシージャ内の自動コミット設定を変更すると、ストアード プロシージャ内のステートメントにのみ影響し、ストアード プロシージャの外部のステートメントには影響しません<sup>2</sup>。

C)。トランザクションは、BEGIN WORK ステートメントを実行することで明示的に開始し、COMMIT WORK ステートメントを実行することで明示的に終了できますが、これは

Snowflake でのトランザクションの使用の特徴ではありません。これは、明示的なトランザクションを開始および終了するステートメントを記述する方法の 1 つにすぎません。Snowflake は、BEGIN WORK および COMMIT WORK1 よりも推奨される同義語 BEGIN TRANSACTION および COMMIT もサポートしています。

D)。トランザクションは、BEGIN TRANSACTION ステートメントを実行することで明示的に開始し、END TRANSACTION ステートメントを実行することで明示的に終了できますが、これは Snowflake では有効な構文ではありません。

Snowflake は END TRANSACTION ステートメントをサポートしていません。明示的なトランザクションを終了する正しい方法は、COMMIT または ROLLBACK ステートメントを使用することです<sup>1</sup>。

参考文献:

- 1: トランザクション | スノーフレークのドキュメント
- 2: 自動コミット | スノーフレークのドキュメント

### 最新問題: 38

USER\_01 という名前のユーザーは、スキーマ EDW 上にマテリアライズド ビューを作成するためのアクセス権が必要です。STG\_SCHEMA。このアクセスはどのようにして提供できるのでしょうか？

- A. スキーマ EDW.STG\_SCHEMA でのマテリアライズド ビューの作成をユーザーに許可します USER\_01;
- B. ユーザー USERJD1 にデータベース EDW でのマテリアライズド ビューの作成を許可します。
- C. ユーザー USER\_01 にロール NEW\_ROLE を付与します。  
スキーマ ECW.STG\_SCHEKA のマテリアライズド ビューの作成を NEW\_ROLE に付与します。
- D. USER\_01 にロール NEW\_ROLE を付与します。  
EDW.STG\_SCHEMA のマテリアライズド ビューの作成を NEW\_ROLE に付与します。

**Answer:** ([解答を表示する](#))

正解は A です。これにより、スキーマ EDW.STG\_SCHEMA 上にマテリアライズド ビューを作成する特定の権限がユーザー USER\_01 に直接付与されます。

オプション B は、データベース EDW 全体に対してマテリアライズド ビューを作成する権限を付与するため、不正解です。これは範囲が広すぎて不必要です。また、ユーザー名にタイプミスがあります (USER\_01 ではなく USERJD1)。

オプション C は、別のスキーマ (EDW.STG\_SCHEMA ではなく ECW.STG\_SCHEKA) でマテリアライズド ビューを作成する権限を付与するため、不正解です。また、この目的のために新しいロールを作成する必要もありません。

オプション D は、無効なオブジェクトに対してマテリアライズド ビューを作成する権限を付与するため、不正解です (EDW.STG\_SCHEMA は有効なスキーマ名ではありません。

EDW.STG\_SCHEMA である必要があります)。また、この目的のために新しいロールを作成する必要もありません。参考文献:

Snowflake ドキュメント: マテリアライズド ビューの作成

Snowflake ドキュメント: マテリアライズド ビューの操作  
[Snowflake ドキュメント: スキーマに対する GRANT 権限]

最新問題: 39

テーブルには 5 つの列が含まれており、数百万のレコードがあります。列のカーディナリティ分布を以下に示します。

Column	Number of Distinct Values
C1	10,790
C2	108
C3	302,605
C4	1.117,736
C5	2.205,400

列 C4 と C5 は主に、GROUP BY 句と ORDER BY 句の SELECT クエリによって使用されます。一方、列 C1、C2、および C3 は、SELECT クエリのフィルターおよび結合条件で頻繁に使用されます。

アーキテクトは、クエリのパフォーマンスを向上させるために、このテーブルのクラスタリングキーを設計する必要があります。

Snowflake の推奨事項に基づいて、複数列クラスタリング キーを定義する際にクラスタリングキー列をどのように順序付けする必要がありますか？

- A. C5、C4、C2
- B. C3、C4、C5
- C. C1、C3、C2
- D. C2、C1、C3

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

Snowflake のドキュメントによると、テーブルのクラスタリングを選択する際の考慮事項は次のとおりです1。

クラスタリングは、次のいずれかの場合に最適です。

コストに関係なく、可能な限り最速の応答時間が必要です。

クエリのパフォーマンスが向上すると、テーブルのクラスタ化と維持に必要なクレジットが相殺されます。

クラスタリングは、次のタイプのクエリ述部でクラスタリング キーが使用される場合に最も効果的です。

フィルタ述語 (WHERE 句など)

結合述語 (ON 句など)

述語のグループ化 (GROUP BY 句など)

述語の並べ替え (ORDER BY 句など)

クラスタリング キーが上記のクエリ述語のいずれでも使用されていない場合、またはキーに適用される関数または式 (DATE\_TRUNC、TO\_CHAR など) を必要とする述語でクラスタリング キーが使用されている場合、クラスタリングの効果は低くなります。

ほとんどのテーブルでは、Snowflake はキーごとに最大 3 つまたは 4 つの列 (または式) を推奨します。

3 ~ 4 つを超える列を追加すると、利点よりもコストが増加する傾向があります。

これらの考慮事項に基づくと、クラスタリング キー列の最適なオプションは C、C1、C3、C2 です。理由は次のとおりです。

これらの列は、クラスタリングに最も効果的なタイプの述語である SELECT クエリのフィルタおよび結合条件で頻繁に使用されます。

これらの列はカーディナリティが高いため、多くの個別の値があり、クラスタリング スキューを軽減し、圧縮率を向上させるのに役立ちます。

これらの列は相互に関連している可能性が高く、同じマイクロパーティション内で同様の行を同じ場所に配置し、スキャン効率を向上させるのに役立ちます。

これらの列には関数や式を適用する必要がありません。つまり、クラスタリングに影響を与えることなく述語で直接使用できます。

参考資料: 1: テーブルのクラスタリングを選択する際の考慮事項 | スノーフレイクのドキュメント

#### 最新問題: 40

夏時間による現地時間の変更は、Snowflake タスクでどのように処理されますか? (2つお選びください。)

- A. UTC ベースのスケジュールでスケジュールされたタスクでは、時刻が変更されても問題はありません。
- B. タスク スケジュールは、時間の変更に対応するために、指定されたタイム ゾーンまたはローカルタイム ゾーンに従うように設計できます。
- C. 夏時間の変更中にタスクは一時停止状態に移行します。
- D. 数分間のような頻繁なタスク実行スケジュールは問題を引き起こさない可能性がありますが、タスク履歴に影響を与えます。
- E. タスク スケジュールは指定された時間のみに従い、失われた時間や重複した時間を処理できません。

**Answer: A,B (メッセージを残す)**

Snowflake のドキュメント 1 および Web 検索結果 2 によると、夏時間による現地時間の変更が Snowflake タスクでどのように処理されるかについて、これら 2 つの記述は真実です。タスクは、Snowflake で SQL ステートメントまたはストアード プロシージャをスケジュールして実行できるようにする機能です。タスクの実行頻度とタイムゾーンを指定する cron 式を使用して、タスクをスケジュールできます。

UTC ベースのスケジュールでスケジュールされたタスクでは、時刻が変更されても問題はありません。UTC は、夏時間を遵守しない世界標準時間です。したがって、タイムゾーンとして UTC を使用するタスクは、現地時間の変更に関係なく、年間を通じて同時に実行されます<sup>1</sup>。

タスク スケジュールは、時間の変更に対応するために、指定されたタイムゾーンまたはローカルタイムゾーンに従うように設計できます。Snowflake は、タスクの cron 式での有効な IANA タイムゾーン識別子の使用をサポートします。これにより、指定されたタイムゾーンの現地時間に従ってタスクを実行できます。これには夏時間の調整が含まれる場合があります。たとえば、ヨーロッパ/ロンドンをタイムゾーンとして使用するタスクは、現地時間が GMT と BST12 の間で切り替わるときに、1 時間早くまたは遅く実行されます。

参考文献:

Snowflake ドキュメント: タスクのスケジュール設定

Snowflake コミュニティ: Snowflake でのタスクのスケジュールに使用されるタイムゾーンは夏時間に従っていますか?

#### 最新問題: 41

Snowflake Architect は新しいデータ共有を作成し、安全なビュー内の特定のレコードのみがデータ共有内でコンシューマに表示されることを確認したいと考えています。

消費者がデータにアクセスできることを検証するための推奨される方法は何ですか?

A. 以下に示すようにリーダー アカウントを作成し、資格情報を使用してログインすることでコンシューマになりすまします。

管理対象アカウントを作成します Reader\_acctl admin\_name = user1 、 admin\_password 'Sdfed43da!44T'、type = Reader;

B. 以下に示すように行アクセス ポリシーを作成し、データ共有に割り当てます。

行アクセス ポリシーの作成または置換 rap\_acct as (acct\_id varchar) はブール値を返します -> case when

'acctl\_role' = current\_role() then true else false end;

C. コンシューマ アカウントを偽装するには、SIMULATED\_DATA\_SHARING\_CONSUMER というセッションパラメータを次のように設定します。

セッションセットの変更 Simulated\_data\_sharing\_consumer - 'Consumer Acctl'

D. 特定の消費者アカウントになりすますには、以下に示すように共有設定を変更します。

シェアの変更販売シェアセットアカウント = 'Consumer1' シェア制限 = true

**Answer: C (メッセージを残す)**

SIMULATED\_DATA\_SHARING\_CONSUMER セッションパラメータを使用すると、データプロバイダーは、リーダー アカウントを作成したり、消費者の資格情報でログインしたりせずに、消費者アカウントのデータ アクセスをシミュレートできます。このパラメータは、特に現在のアカウントまたはロールに基づいてデータをフィルタリングするセキュア ビューまたはセキュア UDF を使用する場合に、データ共有内のコンシューマによるデータ アクセスを検証するために使用できます。このパラメータをコンシューマ アカウントの名前に設定すると、データプロバイダーは、コンシューマが共有データベースにクエリを実行するときに表示されるデータと

同じデータを表示できます。これは、データ共有機能をテストし、意図したデータのみが消費者に表示されるようにするための便利で効率的な方法です。

参考文献:

SIMULATED\_DATA\_SHARING\_CONSUMER セッションパラメータの使用

SnowPro Advanced: アーキテクト試験学習ガイド

**最新問題: 42**

特定のワークロードのパフォーマンスを向上させるためにマルチクラスター ウェアハウスから恩恵を受ける特定の日と仮想ウェアハウスを特定するクエリはどれですか？

**A.** コンピュータのスクリーンショット 自動的に生成された説明

```
SELECT TO_DATE (START_TIME) AS DATE,
WAREHOUSE_NAME,
BYTES_SCANNED,
BYTES_SPILLED
FROM "SNOWFLAKE"."ACCOUNT_USAGE"."QUERY_HISTORY"
HAVING BYTES_SPILLED > BYTES_SCANNED;
```

**B.** 白い背景に黒いテキストの説明が自動的に生成されます。

```
SELECT TO_DATE (START_TIME) AS DATE,
WAREHOUSE_NAME,
SUM(AVG_RUNNING) AS SUM_RUNNING,
SUM(AVG_QUEUED_LOAD) AS SUM_QUEUED
FROM "SNOWFLAKE"."ACCOUNT_USAGE"."WAREHOUSE_LOAD_HISTORY"
GROUP BY 1,2
HAVING SUM(AVG_QUEUED_LOAD) > 0;
```

**C.** 白い背景に黒いテキストの説明が自動的に生成されます。

```
SELECT TO_DATE (START_TIME) AS DATE,
WAREHOUSE_NAME,
BYTES_SCANNED,
BYTES_SPILLED
FROM "SNOWFLAKE"."ACCOUNT_USAGE"."WAREHOUSE_LOAD_HISTORY"
HAVING BYTES_SPILLED > BYTES_SCANNED;
```

**D.** 自動的に生成されたメッセージ説明の拡大図

```
SELECT TO_DATE(START_TIME) AS DATE,  
WAREHOUSE_NAME,  
BYTES_SPILLED_TO_LOCAL_STORAGE,  
SUM(AVG_QUEUED_LOAD) AS SUM_QUEUED  
FROM "SNOWFLAKE"."ACCOUNT_USAGE"."QUERY_HISTORY"  
HAVING BYTES_SPILLED_TO_LOCAL_STORAGE >0;
```

**Answer: C** ([メッセージを残す](#))

マルチクラスター ウェアハウスは、ワークロードの需要に基づいてクラスターを追加または削除することでコンピューティング リソースを拡張できる仮想ウェアハウスです。マルチクラスターウェアハウスは、クエリ キュー時間とローカル ストレージへのデータ流出を削減することで、特定のワークロードのパフォーマンスを向上させることができます。マルチクラスター ウェアハウスのメリットが得られる特定の日と仮想ウェアハウスを特定するには、クエリ履歴を分析し、次の指標を探する必要があります。

高い平均キュー負荷: このメトリクスは、各ウェアハウス クラスターのキューで待機しているクエリの平均数を示します。値が高い場合は、ウェアハウスが過負荷になっており、同時実行の需要を処理できないことを示します。

ローカル ストレージに流出した上位バイト: このメトリックは、クエリ処理中にメモリからローカル ディスクに流出したデータの量を示します。値が高い場合は、ウェアハウスのサイズが小さすぎて、データをメモリに収めることができないことを示します。

ワークロードの大きな変動: このメトリクスは、ウェアハウスに送信されるクエリ数の時間の経過に伴う変動を示します。変動が大きい場合は、ワークロードが予測不可能で動的であり、柔軟なスケリング ポリシーが必要であることを示します。

オプション C のクエリは、日付、ウェアハウス名、ローカル ストレージに流出したバイト数、およびクエリ履歴テーブルからの平均キュー負荷の合計を選択し、バイトがローカルに流出した結果をフィルタリングするため、これらの指標を特定するのに最適です。ストレージがゼロより大きい。このクエリは、データ流出と長いキュー時間が発生した日とウェアハウスを表示します。また、自動スケール モードを備えたマルチクラスター ウェアハウスの恩恵を受ける可能性があります。

オプション A のクエリは、日付とウェアハウス名のみを選択し、ワークロードのパフォーマンスを測定するメトリックが含まれていないため、正しくありません。オプション B のクエリは、日付、ウェアハウス名、平均実行時間を選択するため、正しくありません。これは、マルチクラスターウェアハウスの必要性を示す良い指標ではありません。オプション D のクエリは、日付、ウェアハウス名、使用される平均クレジットを選択するため、正しくありません。これも、マルチクラスターウェアハウスの必要性を示す良い指標ではありません。

参考資料: マルチクラスター ウェアハウス、クエリ履歴ビュー、キューの削減

最新問題: 43

アーキテクトは、接続と切断のタイムスタンプ、ユーザーのユーザー名、および概要統計を含む VPN\_ACCESS\_LOGS テーブルを SECURITY\_LOGS スキーマに持っています。

このテーブルで Snowflake 検索最適化サービスを有効にするには、アーキテクトは何をすべきですか？

- A. 今後のテーブルで OWNERSHIP を持つロールを引き受け、SECURITY\_LOGS スキーマで ADD SEARCH OPTIMIZATION を引き受けます。
- B. SECURITY LOGS スキーマの ADD SEARCH OPTIMIZATION を含むすべての権限を持つ役割を引き受けます。
- C. VPN\_ACCESS\_LOGS の OWNERSHIP と SECURITY\_LOGS スキーマの ADD SEARCH OPTIMIZATION を持つロールを引き受けます。
- D. VPN\_ACCESS\_LOGS に対する ALL PRIVILEGES と SECURITY\_LOGS スキーマの ADD SEARCH OPTIMIZATION を持つロールを引き受けます。

**Answer: C (メッセージを残す)**

SnowPro Advanced: Architect Exam Study Guide によると、テーブルで検索最適化サービスを有効にするには、ユーザーはテーブルとスキーマに対する ADD SEARCH OPTIMIZATION 権限を持っている必要があります。

権限は明示的に付与することも、データベースやロールなどの上位レベルのオブジェクトから継承することもできます。テーブルに対する OWNERSHIP 権限は ADD SEARCH OPTIMIZATION 権限を意味するため、テーブルを所有するユーザーはテーブルに対する検索最適化サービスを有効にすることができます。したがって、正しい答えは、VPN\_ACCESS\_LOGS の OWNERSHIP と SECURITY\_LOGS スキーマの ADD SEARCH OPTIMIZATION を持つロールを引き受けることです。これにより、ユーザーは VPN\_ACCESS\_LOGS テーブルおよび SECURITY\_LOGS スキーマで作成される今後のテーブルで検索最適化サービスを有効にすることができます。他のオプションは、過剰な権限を付与するか、テーブルまたはスキーマに必要な権限を付与しないため、正しくありません。参考文献:

SnowPro Advanced: Architect 試験学習ガイド、11 ページ、セクション 2.3.1

Snowflake ドキュメント: 検索最適化サービスの有効化

#### 最新問題: 44

ある小売会社では 3000 を超える店舗があり、すべて同じ POS (Point of Sale) システムを使用しています。同社は、ほぼリアルタイムの販売結果をカテゴリ マネージャーに提供したいと考えています。店舗はさまざまなタイムゾーンで営業しており、毎分さまざまな取引が行われており、一部の店舗は他の店舗よりも高い売上高を示しています。

販売結果は、複雑なデータ パイプラインで計算されるデータ エンジニアリング フィールドを使用して、統一された方法で提供されます。計算には、例外、集計、およびスコアリング アルゴリズムに接続された外部関数を使用したスコアリングが含まれます。集計のソース データには 1 億行を超えます。

POS は、ファイルに含まれる一連のトランザクションを識別するための店舗番号とタイムスタンプを含む命名規則に従って、すべての販売トランザクション ファイルを 1 分ごとにクラウドストレージの場所に送信します。通常、ファイルのサイズは 10MB 未満です。

ほぼリアルタイムの結果をカテゴリ マネージャーに提供するにはどうすればよいですか? (2 つ選択してください)。

- A. マイクロインジェストを避けるために、Snowflake に取り込む前にすべてのファイルを連結する必要があります。
- B. Snowpipe を作成し、AUTO\_INGEST = true で構成する必要があります。ストア番号とタイムスタンプを通知するストリーム メタデータを使用して、INSERTS を単一のターゲット テーブルに処理するには、ストリームを作成する必要があります。
- C. ほぼリアルタイムのデータを蓄積するためにストリームを作成し、リアルタイム分析のニーズに一致する頻度で実行するタスクを作成する必要があります。
- D. 外部スケジューラは、クラウドストレージの場所の内容を調べ、SnowSQL コマンドを発行して、リアルタイム分析のニーズに一致する頻度でデータを処理する必要があります。
- E. ほぼリアルタイムの要件を達成するには、1 秒ごとに実行するようにスケジュールされたタスクを含む copy into コマンドを使用する必要があります。

**Answer: B,C (メッセージを残す)**

ほぼリアルタイムの販売結果をカテゴリ マネージャーに提供するには、アーキテクトは次の手順を実行できます。

POS が販売トランザクション ファイルを送信するクラウドストレージの場所を参照する外部ステージを作成します。外部ステージでは、ソース ファイルと一致するファイル形式と暗号化設定を使用する必要があります<sup>2</sup> 外部ステージからファイルを Snowflake のターゲット テーブルにロードする Snowpipe を作成します。Snowpipe は AUTO\_INGEST = true で構成する必要があります。これは、新しいファイルが外部ステージに到着すると自動的に検出して取り込むことを意味します。また、Snowpipe では、重複した取り込みを避けるために、読み込み後にコピー オプションを使用して外部ステージからファイルをパージする必要があります<sup>3</sup>。Snowpipe によって作成された INSERTS をキャプチャするターゲット テーブル上にストリームを作成します。ストリームには、ファイル名、パス、サイズ、最終変更時刻に関する情報を提供するメタデータ列が含まれている必要があります。ストリームには、リアルタイム分析のニーズに一致する保存期間も必要です<sup>4</sup> ストリームに対してクエリを実行して、ほぼリアルタイムのデータを処理するタスクを作成します。クエリでは、ストリーム メタデータを使用してファイル名とパスからストア番号とタイムスタンプを抽出し、外部関数を使用して例外、集計、スコアリングの計算を実行する必要があります。クエリは、カテゴリ マネージャーがアクセスできる別のテーブルまたはビューに結果を出力する必要もあります。タスクは、リアルタイム分析のニーズに一致する頻度 (1 分ごと、5 分ごとなど) で実行されるようにスケジュールする必要があります。

他のオプションは、ほぼリアルタイムの結果を提供するには最適ではなく、実現可能でもありません。

マイクロインジェストを避けるために、Snowflake に取り込む前にすべてのファイルを連結する必要があります。このオプションは、データ パイプラインに追加の遅延と複雑性が生じるため、推奨されません。

ファイルを連結するには、クラウドストレージの場所を監視し、ファイルの結合操作を実行する外部プロセスまたはサービスが必要になります。これにより、Snowflake への新しいファイルの取り込みが遅れ、データの損失または破損のリスクが増加します。さらに、Snowpipe は依然として各連結ファイルを個別のロードとして取り込むため、ファイルを連結してもマイクロ取り込みは回避できません。

外部スケジューラは、クラウドストレージの場所の内容を調べ、SnowSQL コマンドを発行して、リアルタイム分析のニーズに一致する頻度でデータを処理する必要があります。Snowpipe は外部トリガーやスケジューラを必要とせずに外部ステージから新しいファイルを自動的に取り込むことができるため、このオプションは必要ありません。外部スケジューラを使用すると、データ パイプラインへのオーバーヘッドと依存関係がさらに追加され、ポーリング間隔と外部スケジューラの可用性に依存するため、ほぼリアルタイムの取り込みは保証されません。

ほぼリアルタイムの要件を達成するには、1 秒ごとに実行するようにスケジュールされたタスクを含む copy into コマンドを使用する必要があります。Snowflake ではタスクを毎秒実行するようにスケジュールできないため、このオプションは実行できません。タスクの最小間隔は 1 分ですが、タスクはスケジュール遅延や同時実行制限の影響を受けるため、これさえも保証されません。さらに、タスクで copy into コマンドを使用すると、ファイルの自動検出、負荷分散、マイクロパーティションの最適化などの Snowpipe の利点を活用できなくなります。参考文献:

- 1: SnowPro Advanced: アーキテクト | 学習ガイド
- 2: スノーフレークのドキュメント | ステージの作成
- 3: スノーフレークのドキュメント | Snowpipe を使用したデータのロード
- 4: スノーフレークのドキュメント | ELT のストリームとタスクの使用
- : スノーフレークのドキュメント | タスクの作成
- : スノーフレークのドキュメント | データロードのベストプラクティス
- : スノーフレークのドキュメント | Snowpipe REST API の使用
- : スノーフレークのドキュメント | タスクのスケジュール設定
- : SnowPro Advanced: アーキテクト | 学習ガイド
- : ステージの作成
- : Snowpipe を使用したデータのロード
- : ELT のストリームとタスクの使用
- : [タスクの作成]
- : [データロードのベストプラクティス]
- : [Snowpipe REST API の使用]
- : [タスクのスケジュール設定]

#### 最新問題: 45

ユーザーには、列内のマスクされていないデータを表示する適切な権限があります。

ユーザーがこの列データをマスキング ポリシーのない別の列にロードすると、何が起こりますか？

- A. マスクされていないデータが新しい列にロードされます。
- B. マスクされたデータが新しい列にロードされます。
- C. マスクされていないデータは新しい列にロードされますが、適切な権限を持つユーザーのみがマスクされていないデータを表示できます。
- D. マスクされていないデータは新しい列にロードされ、どのユーザーもマスクされていないデータを表示できなくなります。

**Answer:** ([解答を表示する](#))

SnowPro Advanced: Architect のドキュメントと学習リソースによると、列マスキング ポリシーは、クエリを実行するユーザーの権限に基づいてクエリ時に適用されます。したがって、ユーザーが列内のマスクされていないデータを表示する権限を持っている場合、その列をクエリすると元のデータが表示されます。この列データをマスキング ポリシーのない別の列にロードすると、マスクされていないデータが新しい列にロードされ、新しい列をクエリできるユーザーにはマスクされていないデータも表示されます。

マスキング ポリシーは列内の基になるデータには影響せず、クエリ結果のみに影響します。

参考文献:

Snowflake ドキュメント: 列のマスキング

スノーフレイク学習: 列のマスキング

#### 最新問題: 46

ある企業では、さまざまな地域に複数のサイトがあり、そこからデータを取り込みたいと考えています。

このタイプのデータ取り込みを可能にするのは次のうちどれですか？

- A. 企業は、そのアカウントにデータを取り込むことができるように、各クラウド リージョンに Snowflake アカウントを持っている必要があります。
- B. 会社は、Snowflake アカウント間でデータをレプリケートする必要があります。
- C. 企業は各サイトに読者アカウントをプロビジョニングし、読者アカウントを通じてデータを取り込む必要があります。
- D. 企業は外部ステージにストレージ統合を使用する必要があります。

**Answer:** D ([メッセージを残す](#))

これは正しい答えです。これにより、企業は外部ステージのストレージ統合を使用して、さまざまなリージョンからデータを取り込むことができるようになります。ストレージ統合は、Snowflake から外部クラウドストレージ内のファイルに安全かつ簡単にアクセスできるようにする機能です。ストレージ統合を使用して、外部ストレージ内のファイルを参照する名前付きの場所である外部ステージを作成できます。外部ステージを使用すると、COPY INTO コマンドを使用して Snowflake テーブルにデータをロードしたり、COPY INTO LOCATION コマンドを使用して Snowflake テーブルからデータをアンロードしたりできます。外部ストレージ サービスが

Snowflake12 と互換性がある限り、ストレージ統合は複数のリージョンとクラウドプラットフォームをサポートできます。

参考文献:

Snowflake ドキュメント: ストレージ統合

Snowflake ドキュメント: 外部ステージ

有効な **ARA-R01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい ARA-R01 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **ARA-R01** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com ARA-R01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com ARA-R01 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Snowflake/ARA-R01-mondaishu.html>  
(**16330%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

共有から作成された Snowflake データベースは、共有から作成されない標準データベースとどのように異なりますか？ (3つお選びください。)

- A. 共有データベースは読み取り専用です。
- B. 新しいデータを表示するには、共有データベースを更新する必要があります。
- C. 共有データベースは複製できません。
- D. 共有データベースは Time Travel ではサポートされていません。
- E. 共有データベースには、明示的に共有にこれらのスキーマを付与しなくても、PUBLIC または INFORMATION\_SCHEMA スキーマが含まれます。
- F. 共有データベースは一時データベースとして作成することもできます。

**Answer: A,C,D (メッセージを残す)**

SnowPro Advanced: Architect のドキュメントと学習リソースによると、共有から作成された Snowflake データベースと共有から作成されない標準データベースの違いは次のとおりです。共有データベースは読み取り専用です。これは、共有データベースにアクセスするデータ利用者は、データベース内のデータやオブジェクトを変更または削除できないことを意味します。データベースを共有するデータプロバイダーは、データとオブジェクトを完全に制御でき、それらに対する権限を付与または取り消すことができます1。

共有データベースは複製できません。これは、共有データベースにアクセスするデータコンシューマーがデータベースまたはデータベース内のオブジェクトのコピーを作成できないことを意味します。データベースを共有するデータプロバイダーはデータベースまたはオブジェクトのクローンを作成できますが、クローンは自動的に共有されません2。

共有データベースは Time Travel ではサポートされていません。これは、共有データベースにアクセスするデータコンシューマーが AS OF 句を使用して履歴データをクエリしたり、削除されたデータを復元したりできないことを意味します。データベースを共有するデータプロバイダーは、データベースまたはオブジェクトに対してタイムトラベルを使用できますが、履歴データはデータ消費者には表示されません3。

他のオプションは、共有から作成された Snowflake データベースが共有から作成されない標準データベースと異なるものではないため、正しくありません。オプション B は不正解です。新しいデータを表示するために共有データベースを更新する必要はありません。共有データベースにアクセスするデータ利用者は、データプロバイダーがデータを更新するとすぐに最新のデータを確認できます<sup>1</sup>。オプション E は不正解です。共有データベースに PUBLIC スキーマまたは INFORMATION\_SCHEMA スキーマを明示的に共有に付与しない限り、それらのスキーマは存在しません。共有データベースにアクセスするデータ コンシューマーは、データ プロバイダーが共有に付与したオブジェクトのみを表示でき、デフォルトでは PUBLIC スキーマと INFORMATION\_SCHEMA スキーマは付与されません<sup>4</sup>。共有データベースは一時データベースとして作成できないため、オプション F は不正解です。一時データベースは、タイム トラベルやフェールセーフをサポートしないデータベースであり、データの保持期間に影響を与えることなく削除できます。共有データベースは、ソース データベースの種類に関係なく、常に永続データベースとして作成されます<sup>5</sup>。参考資料: 安全なデータ共有の概要 | Snowflake ドキュメント、オブジェクトのクローン作成 | スノーフレークのドキュメント、タイムトラベル | Snowflake ドキュメント、共有の操作 | Snowflake ドキュメント、データベースの作成 | スノーフレークのドキュメント

#### 最新問題: 48

データベース DB1 には、1 つのテーブル T1 を持つスキーマ S1 があります。

DB1 --> S1 --> T1

EG1 の保存期間は 10 日間に設定されています。

s: の保存期間は 20 日に設定されます。

tの保存期間は30日に設定されます。

ユーザーは次のコマンドを実行します。

データベース DB1 を削除します。

T1 のタイム トラベルの保存期間はどのくらいになりますか？

- A. 10 日
- B. 20 日
- C. 30 日
- D. 37 日

**Answer:** ([解答を表示する](#))

T1 のタイム トラベル保持期間は 30 日になります。これは、テーブル レベルで設定された保持期間です。

タイム トラベル保持期間は、オブジェクトが変更または削除された後、履歴データが保存され、オブジェクトにアクセスできる期間を決定します。タイム トラベルの保存期間は、アカウント レベル、データベース レベル、スキーマ レベル、またはテーブル レベルで設定できます。階層の最下位レベルで設定された保存期間は、上位レベルよりも優先されます。したがって、テーブル レベルで設定された保持期間は、スキーマ レベル、データベース レベル、またはアカウント レベルで設定された保持期間をオーバーライドします。ユーザーがデータベース DB1 を削除すると、テーブ

ル T1 も削除されますが、履歴データはテーブル レベルで設定された保持期間である 30 日間保持されます。ユーザーは、UNDROP コマンドを使用して、30 日以内にテーブル T1 を復元できません。他のオプションは次の理由で正しくありません。

10 日はデータベース レベルで設定された保存期間であり、テーブル レベルによって上書きされます。

20 日はスキーマ レベルで設定された保持期間であり、テーブル レベルでも上書きされます。

37 日は、どのレベルでも設定された保存期間ではないため、有効なオプションではありません。

参考文献:

タイムトラベルの理解と利用

AT | 前に

スノーflakeのタイムトラベルとフェイルセーフ

**Valid ARA-R01 Dumps** shared by GoShiken.com for Helping Passing ARA-R01 Exam!

GoShiken.com now offer the **newest ARA-R01 exam dumps**, the GoShiken.com ARA-R01 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com ARA-R01 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Snowflake/ARA-R01-mondaishu.html> (163 Q&As Dumps, **30%OFF**

**Special Discount: Freepdfdumps**)